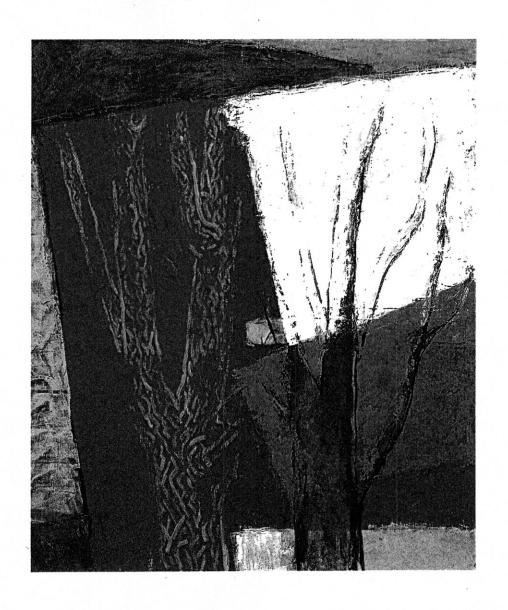
国民と森林

2000年•新春 第 71 号



国民森林会議

欅

の感触は最高である。 たいない。素足でしかもきれいに洗った足で歩くのがよい。そ キは芸術的なもく目を出す。靴下などはいて上を歩いたらもっ めた。ケヤキは廊下の板にするととびきりよい。とくに赤ケヤ 面白さを経験させたいと考え、二十数年前ケヤキの臼一つを求 大昔十日に一回の割で日用品や農産物の市が開かれていたに違 いない。それで十日市という地名が残ったのであろう。今は一 る十日市町は毎年二月に臼、杵、木工具の盛大な市が開かれる。 餅つきの臼の材はミネバリかケヤキがよい。山梨県西部にあ 回の市が開かれる十日市である。子供の成長期に餅つきの

めている大東文化大学の東松山校舎には一五〇本くらいのケヤ とくに、芽ぶき頃と十一月の紅葉がとてもよい。ただ残念なの とになった。二~三年で止めようと思っていたが、一年延ばし が落葉を大地からとり除いてしまうことだ。不心得者がいてタ に二○年もお邪魔した。小生を引きつけたのはケヤキである。 木が三○本はある。二○年くらい前講義を頼まれ週一回行くこ コを捨てるので、火災の予防のためだ。筆者が本務として勤 学習院大学の校内には一五〇年を越えなんとするケヤキの大

> とてもすばらしいキャンパスとなる。 キが植えてある。二○年ものくらいである。あと百年もすると

小

(大東文化大学教授)

睨する大木である。 しさは、同一株から数本の主幹が手を開いたように成長した姿 あるが都市化と共存するためには仕方があるまい。ケヤキの美 線などの邪魔になるので、大きな枝は切られている。残念では の都市化の波から何とか保存しようとした当時の市長と市職員 ののケヤキに番号が付され、保存されている。六○、七○年代 か、二抱えもある一本の主幹が上空に大きく拡がり、周囲を睥 に敬意を表したい。しかし、宅地化し住宅が日影になるのと電 ケヤキ保存ですばらしいのが東京の青梅街道である。百年も

が大木となった。 と敗戦後の新制中学の校舎を建設するため、何本かは切り倒さ うのだ。河川の土手、神社仏閣内、隣家との境、山の所有地の 境などに大木が今でも残る。第二次世界大戦の末期の造船用材 は大槻からきているという説がある。槻がケヤキをさしたとい 筆者が住む山梨県大月市にはケヤキが多い。大月という呼称 しかし、それから五○年の歳月が経過し、当時の中齢林

季刊 国民と森林

No.71 2000年新春号



ens	苍明吉				
	欅物 語	小島	麗逸		2
	「在来工法」の住文化と住	宅国産	材の		
	「市場問題」	菊間	満		4
	森林経営者からの報告	佐藤清	青太郎		15
	公開講座の記録				
	森林認証と林業経営	速水	亨		17
	天竜林業を日帰り見学	杉本	_		25
	偉業に学ぶ	川上仙	山太郎	•••••	27
73	天竜行	小林	金三		29
	切り抜き森林・林政ジャー	ーナル			31
	アトランダム雑誌切抜き		•••••		35

雑 木 林 (1) F20

㈱北海道ワイン蔵小林金三(札幌在住)

中の炭酸ガスを吸収しつづけることを願う。

表紙の言葉

天下の東山魁夷のあととは、とてもとてもとお断わり申しあげたら、魁夷のあとはだれがやってもかないっこないのだから、お気軽にと大内会長の名せりふに、はい!と直立不動。森のなかにはいろいろさまざまな色と音があふれている。たんなる色・音じゃなく、静謐だとか、深深しさとかの装いをまとうから、尋常にはまいらない。



目次題字 隅谷三喜男

ると思うようにならない。昨年の夏行ってみたところ胸高で十て切ってやらないといけないが、やはり一つの職業をもっていか大部分は活着し、すくすくと育っている。苗は他人様の杉林が大部分は活着し、すくすくと育っている。苗は他人様の杉林始めた。今まで二二〇本くらい植えた。何本かは駄目になったが大部分は活着し、八九年からヤボを切り倒し、ケヤキを植えのケヤキである。戦時中に一部を畠にしていたという荒山を一の左のは藤やツタ、カヅラの類が捲きつくことだ。毎年三〇本づの中から失敬させてもらってきて、植えている。毎年二〇本づの中から失敬させてもらってきて、植えている。毎年二〇本づのケヤキである。戦時中に一部を畠にしていたという荒山を一のケヤキである。戦時中に一部を畠にしていたという荒山を一のケヤキである。戦時中に一部を畠にしていたところ胸高で十つが大部分は活動していたという荒山を一つが大部分によるない。

一○○本くらいは生き残ることであろう。二二世紀まで、空気が一○○本も群生したら見事である。五○○本くらい植えれば、かめたいと思うがこれは無理な話。親という字は分解するとかめたいと思うがこれは無理な話。親という字は分解するとかめたいと思うがこれは無理な話。親という字は分解するとで植えたケヤキが一五○年も成長しつづけ、そのような木でとで植えたケヤキが一五○年も成長しつづけ、そのような木でとで植えたケヤキが一五○年も成長しつづけ、そのような木が一○○本くらいは生き残ることであろう。二二世紀まで、空気が一つ○本くらいは生き残ることであろう。二二世紀まで、空気があって、自然の豊かさに驚いた。

持ち家主義と住宅の商品化

(1)

わが国の持ち家主義の特異性

て、資産として、そして男子一生の仕事とし さらに加速させるように思えます。財産とし 集合住宅にするなどのアメリカの要求が関連 して住宅品質確保促進法などは、この流れを に感じますし、建築基準法の一連の改正、そ しろ、その流れはもっと強くなっているよう いません。「民活」と市場原理重視の中でむ その中でも政府は「持ち家」の原則を崩して し、戸建て主義は姿を変えつつありますが、 きには、例えば木造戸建てを四階建て以上の などに重点を移しつつあります。こうした動 での大工・工務店から、漸次大手住宅メーカー 等の生産を行う方向で、製材品市場をこれま 正を行い、乾燥材、エンジニアリングウッド 求を受け、 わが国の林業政策はアメリカの規制緩和要 建築基準法や日本農林規格等の改

> ように思えます。しかし、本当にそうでし て「家を建てる」というのは不変の価値観の

のが普通なように思います。 で建築するが、戸建ては自分で建てるとい 全域を見ても、集合住宅は国や自治体の青 た。また、わが国ばかりでなく、ヨーロッ いし、家を購入するようなことは例外的で 共同で建築したのはそれほど昔のことでは の注文住宅でした。農村・山村地域では集 以前は建て売りなどはなく、都市部でも施 だか三十年そこらしかたっていません。そ するようになったのは、いつ頃からでしょ 品化を図ったのが一九六八年ですから、た か。通産省が住宅産業元年と称して住宅の 家を購入しているのです。それでは家を購 は現在では正確な表現ではありません。実 私は「家を建てる」といいましたが、こ

みることは、世界の水準からはどの辺にあ

家を財産として購入し、成功の印のよう

ス

アメリカ合衆国

幸福、安定した人間関係

学せな家庭

菊 間 満

(山形大学農学部)

	るに	5 任パしな落宝	れかる	あう人はれ ょ	
A.	表一1 成	功の印について-撮影	した家族	からのアンケートー	
1	国 名	回答内容	国 名	回 答 内 容	
	スペイン	上等の家	ブータン	必ずしも成功しなくても良い	_
	ブラジル	自動車と良い家	南アメリカ		-
	キューバ	家をもつこと	エチオピア		
	グアテマラ	生きていること、家をもつこと	イラク		
	モンゴル	自動車と家	ボスニア		
	口 本	家をもつこと	アルバニア		
	マリ	お企	ロシア	回答なし	
	イスラエル	借金がないこと	ハイチ		
	ドイツ	収入があること	ベトナム		
	イタリア	社会的に認められること	9 1		
	アルゼンチン	仕事で名前が売れること	インド		
	メキシコ	仕事での評価	41 14		
	西サモア	男は村の長になること		·	_
	ウズベキスタン	子供たちの成功 ・			
	クウェート	幸福であること	資料:ヒ	ーター・メンツェル『地球	

資料:ピーター・メンツェル 『地球 家族-世界30か国の普通の幕 らし』TOTO出版、1994年、 より作成。

(2)にぶつかりけがをするというものです。しか の頭に落ちてくるとか、狭い室内で家具の角 ます。例えばタンスの上からアイロンが子供 年間約一万件の家庭内の死傷事故が起きてい 家庭内災害に関する統計によると、現在では という異常な状態が一目瞭然です。厚生省の までに詰め込まれ、犬まで持ち家(犬小屋) と、狭い室内に家具や耐久消費財があふれる この写真集に納められた日本の住居を見る 住宅の商品化が招いたシックハウス症候群 一九九四年の人口動態統計(厚生省)で

ます。

む建材で汚染されて

化学物質を大量に含

そして、狭い家は

断熱の住宅は汚染物 います。高気密と高

例えば家庭などに価値を見いだすのは、アメ あるところでした。我が国はどうかといえば、 リカやイギリスなどの先進国です。回答しな の第三世界や途上国が多く、家以外のものに、 ジル、キューバ、グアテマラ、モンゴルなど 次のような傾向が明らかになりました(表-設問がありました。集計してみると、およそ 家の財産を全部戸外に出して、「家」をまる 国際家族年に際し、その家とその家族とその のでしょうか。国連の後援で、一九九四年の 日本の水準は第三世界と同じといえるでしょ 成功の印は家です。持ち家です。ですから、 い国も多く、それらは経済危機や戦争状態に トの中に、「成功の印」とは何なのかという 撮影時に世帯主に行ったいくつかのアンケー ごと写した写真集(資料-1)があります。 成功の印に家をおく国は、例えばブラ

> を数えるほどです。 うち住宅に係わる事 歳以上)の家庭での 故死は約二千六百人 事故死総数は五千人、 は、高齢者(六十五

りか、鉄筋コンクリー 様です。表一2は、 山形県鶴岡市の小学 ト造の多い学校も同

危険なのは家ばか

は非木造に比べて事 たものですが、木造 校での事故の特徴を 木造、非木造別に見

といわれるので、こ れます。コンクリー 怪我の程度は軽いと 故の頻度は高いが、 の結果は当然といえ トは木材の十倍堅い いう傾向がうかがわ 山形県鶴岡市内小学校の木造・非木造別災害発生状況

(単位:件、円)

																		- 10		1000000 000000
木	年	学	生		生	徒	1,000	人	当た	り	の災	害	件数	なと	災	手の	状 i	兄		_
造				総	災暑	手のも	犬況	場		É	<u> </u>		別	負	傷	1 19	美 非	丙	別	件当
非		校	徒	件	校	校	学	授	特	学	課	その	登	骨折	捻	挫	打	歯	そ	件当たり給付額
木造				П	舎	舎	校	業		学校行事	課外指導	その他休憩	下	护脱		裂			の	給付
別	度	数	数	数	内	外	外	中	活	事	導	颓	校	臼	挫	症	撲	痛	他	額
非	1981	13	7,124	20	12	5	3	6	0	2	1	11	0	5	2	6	2	0	5	5,012
카	1982	15	7,387	20	11	7	2	5	0	1	1	11	1	7	1	7	1	1	1	7,709
木	1983	15	7,328	28	16	9	3	7	2	3	1	15	1	6	6	10	2	2	3	8,478
144-	1984	15	7,110	27	17	7	3	7	1	1	1	4	1	7	6	9	2	1	3	6,266
造	1985	15	6,945	26	14	8	4	7	1	3	1	13	1	8	7	7	1	1	3	6,140
木	1981	8	1,965	33	21	11	1	8	2	1	0	20	0	6	4	11	2	2	5	5,455
不	1982	6	1,572	29	17	10	3	4	2	3	1	16	1	6	6	13	1	2	0	6,777
	1983	6	1,532	28	13	13	2	7	0	2	0	18	. 2	10	4	9	0	1	1	6,484
\A4.	1984	6	1,543	28	14	10	4	5	1	1	1	16	1	8	6	8	0	1	1	5,593
造	1985	6	1,532	34	20	11	3	1	2	4	2	15	1	9	3	11	3	3	3	4,450

: 木造は、校舎構造面積で木造面積割合が5割以上、非木造は鉄筋コンクリ もの。

原資料は日本学 資料:菊間満『地域住宅市場の研究-在来工法住宅と日本林業-』1994年、27頁より引用。 なお、 (鶴岡市)と昭和61年度公立小中学校施設状況調(鶴岡市、1986年5月1日現在) 校保健会年度別集計表 り作成。

湿気はダニを繁殖さ 質を室内に滞留させ、

という調査報告すらありました。興住宅地の調査では、新築の約一割に達するシックハウス症候群です。最近の埼玉県の新病気(アレルギー、喘息など)になるというせます。その結果、生じたのが住んでいるとせます。

なお、私が見て、聞いた例でも外国でこうし てくることが予想されます。 そして居住する場合には緩慢にその影響が出 しても、職業性疾患の場合には急激に発症し、 していることを、全建総連が指摘しています 業性疾患を発症する例が十年ほど前から発生 その結果、アレルギー・中毒・ガンなどの職 す。さらに、大工・工務店の作業者が米材や た症状が社会問題化している例はないようで も健康的であるという当たり前の結果でした。 加工の木材使用、最も自然な工法の住宅が最 住宅は、天井が高い一戸建て、床・家具は無 ています。それは、シックハウスにならない 内容を朝日新聞は要約し、次のようにまとめ まとめ、その一部を刊行しました。報告書の (資料-2)。外材の場合、むくの木材を使用 南洋材の造作加工時に木質粉塵を吸い込み、 を作り、一年の調査の後、九六年に報告書の その深刻さ故、一九九五年に厚生省は調査班 より遙かに深刻で、社会問題化しています。 シックハウスの状況は私たちが考えている

担ってきたのです。政府などは、大工・工務店が工・工務店、しかも小規模の大工・工務店がを在来工法で建ててきました。その技術は大私たちは、今まで普通の最も健康的な住宅

店の経営の小規模性が問題で、大規模にしないような会社は存在しないようなのです。衣を住は文化であり、全国画一的な供給が制度住は文化であり、全国画一的な供給が制度住は文化であり、全国画一的な供給が制度住は文化であり、全国画一的な供給体制にはなじまないというのがどこの国でも普通のまえ方で、アメリカにも北海道から沖縄まではなじまないというのがどこの国でも普通のはなじまないというのがどこの国でも普通のはなじまないというのがどこの国でもでした。

どが、解決されるべきなのです(資料-4)。建材や水回りの関係が高すぎるといった点なことの原因、実は許認可制度を背景にして、ことの原因、実は許認可制度を背景にして、はは国際的にはむしろ適性であるといえます。

(3) 住宅政策の画一性と建築の地域性との矛盾(3) 住宅政策の画一性と建築の地域性との矛盾というと疑問が、本当に社会的弱者本位かというと疑問がが、本当に社会的弱者本位かというと疑問が活、体当に社会的弱者本位かというと疑問が法(昭和二十三年)では、両側が壁である場合は手すりはいらない。片側が壁の場合だけ、設置が義務となっています。老人には手すりない。片側が壁の場合だけ、設置が義務となっています。それには手が表しています。

ギリスでは保守政権下の後退はあったが、 とで可能なのかに関しては、残念ながら疑問 です。老人の体力、障害者の状況を反映した 域性を生かした住宅建築が可能になっていま しい。また、建築基準はドイツの場合は連邦 あります。日本のような一つの建築基準は珍 準です。欧米では建築基準は事務所・工場と 工場と住宅、病院、学校等、全て同じ建築基 ないのです。健常者が二十四時間働く事務所・ たということを聞いています。 の関連から、三階位までの階数制限さえあっ をもたざるを得ません。この点と関連し、イ バリアーフリー住宅が画一的な建築基準のも す (資料-5)。画一的な建築基準は例外的 州、市町村の基準と規制があり、それぞれ地 住宅などで異なり、それぞれ別の建築基準が 七〇年代までは公共住宅は子供の運動能力と

多様性を生かすものではありません。
あは、グローバルスタンダードということで、
方しています。その中には、例えば水道法の
改正による指定業者制度の廃止など、一定の
合理的なものもありますが、全体としてそれ
合理的なものもありますが、全体としてそれ
は決してわが国の住宅建築の地域性と居住の

二、「在来工法」と日本の住文化

ヨーロッパは石の文化で、日本は木の文化(1) 木造在来工法の汎世界性と地域性

築が、例えばその典型として見られる教会の なしには考えられないのです。 の延長なのです。したがって、石の文化は木 が模様に着いているように、石の柱は木の柱 ヨーロッパの石造建築の上部には必ず木の葉 としか思えないというものでした。さらに、 巨大石造建築群と生活用の木造建築があった ると鬱蒼とした森林の中に、木材を利用した 数の木造建築の痕跡がある。昔の状況を考え ムもできなかったのです。また、アンコール は潤沢にはないため、木がなければ石のドー 礎を組むことが当たり前ですが、中世には鉄 基礎を仮設し、その上に石を載せていくこと の塔の最上部の丸い部分)の建築は、木材で ドームなどが多いのです。石のドーム(教会 います。確かにヨーロッパには巨大な石造建 であるという通説について考えてみたいと思 あり、朽ち果ててしまったが周辺地域には無 の部分、部分に小さな木の基礎を入れる穴が ワット遺跡を調査した例では、巨大石造建築 ではじめて可能になります。今なら鉄骨で基

> も木造が残っているといいます。しかも、 な町並みが形成されるのです。ヨーロッパで ばかりですから、一体感が出てきて、一体的 地元にある建築資材を総動員して作るものが す。この漢字を分解すると、竹、土、瓦、木 工法は決して遅れた工法などではないのです。 てて柱とし横に梁、桁として使う工法は、日 工法、わが国の在来工法なのです。木材を立 欧の組積工法を除けばそのほとんどが軸組み 山村地域では例えば東ヨーロッパ等では今で 燥期の冬は湿気を放出する、木材は天然のエ 歴史によって異なります。わが国の場合、 使われていました。ただ、木の役割は地域や 葉がキリスト教の世界観が支配した中世には は、「ヴァナキュラー(地域土着)」という言 建築なのです。木の色、土の色、地元のもの になります。こうしたものをすべて使って、 念があります。建築の築という漢字がありま 本だけではなくて世界中共通なのです。 自然条件が異なれば違ってきます。 アコンであるわけです。しかし、この機能も 気との関係で、つまり夏場は湿気を吸い、乾 日本とヨーロッパの住宅に関する共通の概

モルタルで、内側を木材を出す日本とはちょし、内側にモルタルを塗る工法です。外側に角材のログハウスで外壁は木材をむき出しにに、建築中の住宅を見たことがありました。域があります。この山脈南部の山村の調査時ウ本州と北海道を併せたほどの面積の森林地ウエシア沿海地方にシホテーアリン山脈といロシア沿海地方にシホテーアリン山脈とい

候によって変わってくる一つの例です。 いタルをぬることになる。木材の合理性も気にれがって、比熱の関係で寒さにはモルタルとからの暖気の放熱を防ぐために内側にモルタルをなることになる。木材の合理性も気いのがです。この地域は、大変乾燥しうど反対なのです。この地域は、大変乾燥し

しかし、木材の強度というのは地域によってそんなに変わるものではなく、世界中共通のものです。建築家の増田一眞氏は、著書でのものです。建築家の増田一眞氏は、著書でのものです。建築家の増田一眞氏は、著書でのだら高さは限界が五千m、円錐に積んだらんだら高さは限界が五千m、円錐に積んだらんだら高さは限界が五千m、円錐に積んだらのだら高さは限界が五千m、円錐に積んだらのだら高さは限界が五千m、円錐に積んだらのもがでは一万m、円錐では三万mになります。と縦では一万m、円錐では三万mになります。と縦では一万m、円錐では三万mになります。

だが、こうした木造の強さに国民の2 日本の住文化を支える在来工法住宅

ロフスクで、カナダの木材会社、住宅会社、地かせたのが阪神大震災でした。倒壊した建物の多くは戸建ての木造であり、在来工法に物の多くは戸建ての木造であり、在来工法に初する不信感が募り、林業関係者のなかでもことがありました。一昨年、ロシアのハバたことがありました。一時年、ロシアのハバたことがありました。一時に、日民の疑問をだが、こうした木造の強さに国民の疑問をだが、こうした木造の強さに国民の疑問を

りませんでした。 です。しかし、それは思ったほどの影響はあ 法たたきは、国内だけでなく国際的だったの の倒壊写真をスライド上映しました。在来工 て弱い建築の例として阪神大震災の在来工法 社はツーバイフォーが強いことを訴え、そし 見学しました。そのおり、ある有力な住宅会 林業機械会社など数十社が開催した展示会を

典型的な伝統的工法の住宅が倒れなかったの た。柱は太いが、筋交いなども使わない最も ように、周辺農村地域の古い農家、民家でし 聞社の研究所が震災後の調査で明らかにした して倒壊しない建築物の一つが、日本経済新 と比較すること自体道理のないものです。そ 年以前の建物はないのだから、在来工法一般 法と非在来工法住宅です。非在来工法は七〇 なかった建物は七○年以降建築された在来T %と大きな減少は示さなかったのです。実際 れた在来工法の欠陥住宅です。一方、倒壊し 七二・四%、震災の翌年の九六年でも六九・一 びたいかのうち在来工法は一九九三年で に倒壊したものの多くは、戦後すぐに建築さ 論調査」がありますが、どのような住宅を選 総理大臣官房が行う「森林と緑に関する世

学する機会がありました。大工さんが学生に、 うか。山形県の山間集落に建築中の住宅を見 のですが、若い世代の人達はどうなのでしょ た方が正確ですが、それに強い共感を覚える 私は在来工法、というより伝統的工法といっ

近くいることです。大工・ 来工法の担い手が七十万人 利な条件があります。それ わが国には世界を見ても有

工法の将来を考えるとき、

悲観的な話の一方で在来

は、大工・工務店という在

ないなどの工夫をしている等と説明しました。 坪当たり石数は地域平均の倍以上、百年もつ ように基礎を高くし道路より決して低くさせ 豪雪地なので屋根の垂木も心持ち材を使い、 帰学後、ある女子学生がレポートで大変駆

長く使うことに価値観を見 味深い感想を書いたのです。 い住宅には住みたくない」。 私は百年ももつような古

分かります。 が国は三十年程度ですから、 イツは八十年前後、一方わ カは百年弱、フランス・ド ギリスは百四十年、アメリ いかに建て替えが短期間が 期の国際比較によれば、イ の反映のように思えます。 圏を中心に極端に低下して 住宅の建て替え年数が首都 ように住宅を買う。最近の 最近の建設省の住宅更新周 いることも、こうした意識 いだせず、車を買い換える

木造率(%)	年度	平均(%)	都 道 府 県 名 (木 造 率 上 位 順)
	1972	44.6	大阪、和歌山、東京、兵庫、(沖縄)
50未満	1986	34.0	大分、香川、徳島、愛媛、山口、高知、福岡、広島、神奈川、兵庫、京都、 愛知、東京、大阪、沖縄
	1996	34.7	奈良、岡山、岐阜、大分、三重、神奈川、京都、山口、高知、滋賀、愛知、 広島、福岡、東京、大阪、兵庫、沖繩
	1972	55.6	福岡、山梨、広島、奈良、京都、愛知、徳島
50~60	1986	54.0	長崎、石川、宮崎、鹿児島、熊本、遊賀、埼玉、山梨、福井、静岡、岡山、 三重、奈良、和歌山、岐阜
	1996	54.0	佐賀、栃木、鹿児島、埼玉、宮城、和歌山、宮崎、福井、長野、扇取、長崎 香川、干葉、静岡、熊本、徳島、愛媛
	1972	64.2	三重、静阔、宫崎、大分、 妥媛、 滋賀、香川、鹿児島、神奈川、岐阜、千葉 山口、岡山
60~70	1986	62.3	茨城、長野、富山、佐賀、宮城、馬取、群馬、北海道、栃木、干葉
	1996	63.3	福島、島根、富山、北海道、群馬、石川、山梨、炎城
ma 121 1	1972	77.6	秋田、山形、青森、岩手、佐賀、新潟、群馬、福島、石川、次城、栃木、5 野、高知、熊本、富山、北海道、宮城、鳥取、島根、福井、埼玉、長崎
70以上	1986	78.1	岩手、山形、青森、秋田、新潟、島根、福島
	1996	80.0	青森、秋田、岩手、新潟、山形

木造率は新設住宅着工戸数比である。

1972年度の全国合計は沖縄県を含まない。 同年次の着工建 築物床面積当たりの木造率は1.4%である。

1998、48頁よ

す。また、全建総連という大工・工務店経営 者で組織される労働組合(職能集団としての 対する技術は世界でも有数のものだと思いま 七〇年以降)、それでもおそらく木造建築に 工務店は近年の技術低下はありますが (特に

は、 EMI、国産すり「行易引食」に引き 在来工法の木造文化を守り発展させることを でいます。

二、住宅・国産材の「市場問題」と居

(1)

木造住宅市場の構造

巾場問題という用語を使うと全国一本で市

のです。のです。のですが、インスタント食品まで全国を数地のですが、インスタント食品まで全国を数地のですが、インスタント食品まで全国を数地のですが、インスタント食品まで全国を数地のですが、インスタント食品まで全国を数地のです。

表-4 木造建築工事業と大工・工事業の地域別推移(木造率別)

推移を見てみましょう(表-3)。

戸数別の

徴として見るために、

都道府県別の木造率の

さて、住宅と国産材の市場問題を地域的特

年 度	新設住宅着	都道	総事業所数					総従業員数				
	工戸数に占 める木造率	府県数	(∧~M)	木造建築 工事業	大工· 工事業	合 計	構成比	(A~M)	木造建築 工事業	大丁.• 工事業	合 計	構成比
	(%)						(%)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
1986	全国合計	47	6,708,759	96,589	67,924	164,513	2.5	54,370,454	512,192	161,456	673,648	1.2
	50%未満	15	3,337,829	37,888	20,354	58,242	1.7	28,693,921	193,231	58,640	251,871	0.9
	50~60%	15	1,516,004	23,195	19,837	43,032	2.8	11,234,550	116,970	40,539	157,509	1.4
	60~70%	10	1,242,534	24,000	16,291	40,291	3.2	9,920,759	133,285	38,239	171,524	1.7
	70%以上	7	612,392	11,506	11,442	22,948	3.7	4,521,224	68,706	24,038	92,744	. 2
1996	全国合計	47	6,717,435	98,690	52,964	151,654	2.3	63,081,523	484,145	156,937	641,082	1.0
	50%未満	17	3,564,503	39,726	19,679	59,405	1.7	35,481,929	194,865	63,871	258,736	0.7
	50~60%	17	1,797,505	31,626	17,426	49,052	2.7	15,760,058	162,429	48,144	210,573	1.3
	60~70%	8	909,352	18,125	9,514	27,639	3.0	8,144,197	68,115	28,445	96,560	1.3
	70%以上:	5	446,075	9,213	6,345	15,558	3.5	3,695,339	58,736	16,477	75,213	2.0
86年対比	全国合計	100	100	102	78	92	90	. 116	95	97	95	8
96年指数	50%未満	113	107	105	97	102	98	124	101	109	103	8.
	50~60%	113	119	136	88	114	97	140	139	119	134	9
	60~70%	80	73	76	58	69	95	82	51	74	56	7
	70%以上	71	73	80	55	68	94	82	85	69	81	9

注:A~Mは農林水産、公務を含む全産業。

うことになっています。反対に、木造率はの地域は人工造林率の低い林業後発地域です。こには青森、秋田、岩手、新潟、山形の五県には青森、秋田、岩手、新潟、山形の五県には青森、秋田、岩手、新潟、山形の五県には水田から始まって長崎まで二十二ありまたした。それが八六年には七に減少し、九六年年は秋田から始まって長崎まで二十二ありまた。

した。首都圏や林業先進地域である関西がこは十五に、そして九六年には十七に増加しま五〇%未満の県は七二年の五県から八六年に

資料:菊間、同表-3、49頁。なお、原資料は総務庁統計局「事業所統計調査報告」、建設省「建築統計年報」より作成。

表一5 「差望の住字像」に関する山形県内での地域別比較

松 5	1 111 == 0	ガエ七家」			<u> </u>	37-017			
Lole	4-1		項	l		目			
地	域	所有形態	家の種別	家の工法	部·屋数	スタイル	耐用年数	建築依頼業者	調査年次
山形市新	興住宅地	持ち家	一戸建て	在来工法	6 部屋	和洋折衷	30~50年	地元大工・工務店	1989
鶴岡市川	日市街地	持ち家	一戸建て	在来工法	6 部屋	和洋折衷	30~50年	地元大工・工務店	1987
鶴岡市島	農業集落	持ち家	一戸建て	在来工法	8 部 屋	和洋折衷	30~50年	地元大工•工務店	1988
温海町L	山間集落	持ち家	一戸建て	在来工法	10部屋	和 風	30~50年	地元大工・工務店	1991
大石田町	農業集落	持ち家	一戸建て	在来工法	9 部 屋	和洋折衷	30~50年	地元大工・工務店	1994

注:建て主への地域(集落、自治会)悉皆調査より作成。

資料: 菊間満『地域住宅市場の研究-在来工法と日本林業』日本林業調査会、1994年、70頁、菊間満・横内修 「木造在来工法と地域住宅市場に関する研究(V)-山形県大石田里集落を事例として-」『日林東北誌』 47(1995)、233頁より引用。

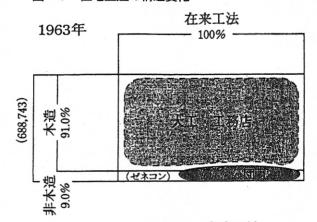
表-6 市町村規模別(人口)の木造住宅建築(1990年)

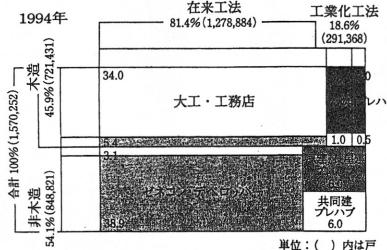
人口規模(人)	市町村数	人口(人)	新築戸数	内木造戸数	木造率(%)
5 千未満	620	1,949,403	11,529	7,258	63
5千~1万	897	6,528,653	54,561	38,262	70
1万~5万	1,280	26,960,664	309,235	218,143	71
5万~15万	304	25,034,409	249,939	163,771	66
15万~50万	113	31,445,152	256,034	162,953	64
50万以上	21	31,678,303	189,225	100,327	53
合 計	3,235	123,596,584	1,070,523	690,714	65

- 注:1)1990年の新築戸数は1,707,109戸、木造戸数は727,765戸、木造率は43%
 - 2) 本表の戸数は、その内、工事費予定額の記載されている戸数のみを抽出
 - 3)東京都が23区は1自治体とした。なお、下記の年報には6村4町2市 (合計人口130,947人)が記載されていない。

資料:菊間、同表-3、50頁。なお、原資料は建設省「建築統計年報(平成3年度 版)」、1990年国勢調査(速報値)等より作成。

住宅生産の構造変化 図-1





資料: 巽和夫『地域住宅産業の課題と展望』(全建総連ブックレット7)、1997年、 40頁より引用。なお、原資源は積水ハウス構法計画研究室資料。

この点は、その典型ともいえる山形県の例を い構造は東北と日本海側の地域にあるのです。 在来工法で住宅を建てるといった最も望まし したがって、地域の材を使って地域の大工が は少なく、大手の下請け、手間仕事になる。 稼ぎ先です(表-4)。大工の仕事も元請け 追率が概して低く、大工の数も少ない大工出 うした地域の中身ですが、こうした地域は木

いのです。 ある数でこの数十年間、 戸建ちました。この七十万戸とは大変意味の 住宅は建設省が確認しているもので約七十万 ります。表−6のように、一九九○年で木造 様な地方自治体で建築されるのかが問題にな 景気変動で大きく増減するのは大 大きく変わっていな

示した表-5にも明らかです。 次ぎに、現実に建築される木造住宅がどの

傾向は九七年でも変わりませんでした。地元 中小規模地方自治体での住宅供給です。この であって、大工・工務店の木造・戸建の住宅 材で地元の大工が地元に住宅を供給する構造 給を行ってきたのです。結論から述べると、 は大変安定的に国民の要求に応えて住宅の供 七十万戸の七割が人口規模で十五万人以下の

手メーカーの鉄筋、コンクリートの集合住宅

ているのです。 になり、それが欠陥住宅がひろがる素地になっ 事は手間仕事で、手間を稼ぐのが商売のこつ が増えたということになります。下請けの仕 けに出すものです。何が変わったかといえば、 割になり、非在来の工法が二割近くを占める せん。ただ、木造七十万戸の中身が在来が八 りましたが、木造の総数はほとんど変わりま 非木造が新たに大きく増えて八十五万戸にな た九四年にはどのように変化したでしょうか。 店によるものでした。それから三十年以上たっ 年にはその供給のほとんど全てが大工・工務 とどうでしょうか。図-1によると、一九六三 であることは説明の必要もないことでしょう。 東北地方の住宅供給に関わるある第三セクター 実性のないものでした。その失敗の典型例が、 出荷の方針でした。その方針は、最初から現 うが、七○年以降の政策は県外出荷、大都市 市場を開発すれば林業の将来もあったのでしょ はむしろ安定的で、こうしたところを重点に 大工の元請けの仕事が減って、下請けの仕事 丸投げといって、地場の大工・工務店に下請 ても、その建築のほとんどは大手メーカーが ようになりました。しかし、非在来工法といっ さらに、年間七十万戸を建築業者別に見る

祖国復帰の七二年は一・四%くらいまでに、

りません。戦後すぐの木造率は九九%くらい は、いつ頃からというとそんな昔からではあ

です。一九六〇年でも五六%あった木造率が

は、沖縄県なのです。沖縄県をみれば、日本 ました。こうした問題を日本で先取りしたの メリカ風の住み方が問題なのだという話をし

アメリカ本位の住宅供給、米材の利用、

の将来を予測できます。沖縄県の木造率は、

一%程度で全国で最低です。この超低木造率

二十年間もたたないうちに下がってしまった

のです。その主な要因は、米軍のコンクリー

たこと等によります(資料-8)。

上陸戦争時に消失し、近年再建された首里

響を受けた県民の住宅にも、この工法を広げ 占領体制のもとで地住生活のアメリカ化の影 ト兵舎建設に従事した沖縄の大工が、戦後の

(2)自給率拡大を阻む逆の非関税障壁

かし、住宅コストに占める木材の割合が都市 にあるとの議論がされたことがあります。し 木造住宅が割高で、原因は木材価格の高さ

> えばスギとベイマツを比べればスギの方が安 と住宅に使用すればよいのです。さらにこう 担当者は国産材価格が外材より安くなればシェ い状況が固定化されています。研究者や政策 れてきました。しかし、一九九〇年以降、例 ような状況は生まれてこないという指摘がさ した議論の際には、必ず国産材は外材より高 材より安い、そして安全で健康的な木材をもっ 全く意味のない議論になりました。ほかの建 部では二割を切ったような状況では、もはや 産材が使われない理由が次の問題になります。 低下したのです。したがって、価格は安い国 格は下がったのにシェアはついに二〇%まで アは回復するといってきましたが、事実は価 い、この問題を解決しない限り国産材を使う アメリカは、米材の市場が日本で拡大しな

逆の非関税障壁が他にも沢山、日本の国内に ばすむことだが、そうはならない。こうした えない。国産材の強度に合わせてガンを作れ だと頭が沈んでしまい、国産材が安くても使 すが、あの釘を打ち出す強度は米材向でスギ ります。住宅建築に使うエアーガンがありま とを行うのですが、日本でも同様なことがあ には応じないというような首尾一貫しないこ アメリカは、カナダからの関税引き下げ要求 海岸地域はカナダからの木材輸入地域です。 は西海岸は日本への木材輸出地域ですが、東 どを改正させてきました。アメリカという国 その解消を迫り、建築基準、日本農林規格な いのは関税と各種の障壁があるからだとし、

> アナヤー(穴屋、掘っ建て小屋形式の農家) は典型的な木造文化でした。木造といっても 戦前の一般庶民の住宅も全てが木造で、沖縄 城正殿はアジア有数の大型木造建築であり、

あるのです。

(3)木造住文化解体・沖縄県の歴史

うな在来工法に移りますが、沖縄はこの工法

本土ではこの工法から江戸時代中期に今のよ られる貫を柱に通して楔で止める工法でした。 仕口を使わない、本土の中世の神社仏閣に見 た。特にヌキヤーは木造工法ですが、複雑な やヌキヤー(貫屋)という工法が一般的でし

風にこの工法は柔軟に対応したのです。台は何かというと、実は耐台風性なのです。台より柔軟で可動的だからです。このメリットキャーは壁で強度を保つのではなく、仕口はで住宅が建てられてきました。その理由はヌ

その沖縄で木造建築文化を解体し、半世紀

宅、木造住宅が欲しいというのが大半の回答 とったところ、鉄筋コンクリートのエアコン その次は、母親です。家庭科の先生たちが、 子関係は、ちょうど本土とは反対なのです。 話をある設計士の方から聞きました。この親 をする、木造で建てたいが二人の両親ともコ 付きの住宅には否定的で、より自然に近い住 母親にどんな家を建てたいかとアンケートを 設計士が行います。「今度、若い夫婦が新築 のの、大量のヒバ材を一時に供給することは のですが、これを一番良く学んだのは米軍で した。塩と風にコンクリート工法は弱かった が経ちました。戦後すぐに建てたコンクリー か両親を説得して欲しいと頼まれた」という ンクリートで建てろといって聞かない、何と 建築確認は工務店などが行う本土とは異なり アメリカの建築確認制度が導入されたので、 日本人の中ではまず、若い世代です。沖縄は できないので断念したという事実があります。 青森ヒバを使うように日本政府に要求したも 舎を拡充する際、米軍は地元材で建てること、 した。「思いやり予算」で三沢基地の米軍兵 トの米軍兵舎や住宅は、ほとんどが崩壊しま 一方、沖縄で木材の見直しをしているのは、

した。

(4) 沖縄県の歴史と本土の将来

るか、考えると恐ろしいものがあります。 リカナイズされたらどこまで木造率が低下す 地域文化の独自性が薄い本土がこれ以上アメ 率は一%台までに低下してしまった。もし、 沖縄で、あれほどアメリカナイズされ、木造 建てられる技術は沖縄にはないのです。わが した。沖縄の大工にも手伝ってもらい、補修 いので、首里城を建てたのも本土の宮大工で ういう人達も木造は十年前に建てたきりであ それも六十、七十歳代の人がほとんどで、そ は十年近く前の調査で五十人くらいでした。 国でも最も地域文化が豊かに継承されている の技術は伝えていくとの話でしたが、自前で た人はいないのです。沖縄には宮大工はいな る。若い世代は、頭領として木造建築に携わっ しかし、沖縄で木造建築が可能な大工の数

住宅のあり方四、資源のリサイクルと木造

要なことである」と著書で述べています。私大きな循環系の食物連鎖を考えると絶対に必に還しても害のないこと、これは生命相互のに還しても害のないこと、これは生命相互の人化と関連して、先の増田一ム化

ているのだろう」 建設廃材の処理問題にどういう妙案を用意し ングウッドと称してそれらを化学的成果とし がこんなことはすべきでない。エンジニアリ ラスチックで木の導管を充たそうとしている にも耐久性にも問題がある。その上、今やプ 「木材ではベニアや集成材などの接着の毒性 は次ぎのように、厳しく指摘しています。 食べられない土台はどうでしょうか。増田氏 ドや集成材などの工業木材はどうでしょうか。 にも取り組まれているエンジニアリングウッ な素材です。しかし、今、需要拡大が政策的 そ建築用の資材の中でもっとも自然で、安全 そのままでも腐蝕して土に還っていく、 ならば寿命が終えれば燃料として利用でき、 も一番大事な原則だと思います。木材は普诵 て有難がっている木質系構法の推進者たちは、 防腐剤のたっぷり含まれている、シロアリも

政府は大手メーカーが主導する高気密・高政府は大手メーカーが主導する高気密・高力した「住宅産業ビジョン」は、今後の住宅出した「住宅産業ビジョン」は、今後の住宅はした「住宅産業ビジョン」は、今後の住宅建築の動向について述べた大変重要なものです。それによると少子化と住宅ストックの増す。それによると少子化と住宅ストックの増す。それによると少子化と住宅ストックの増きを含めて全部で七十万戸まで落ち、大手メーカーが地域の大工・工務店の市場に進出し、シェアを拡大し、在来工法の大工・工務店は治されるとします。残念ながら、一九九九海汰されるとします。残念ながら、一九九九海汰されるとします。残念ながら、一九九九海汰されるとします。残念ながら、一九九九カーが対域の大工・工務店の市場に進出し、

右へならえのようです。年白書に見られるように、林政も依然として

中どこに行っても使えると述べています(資 ンシステムといって互換が可能である、日本 ないのだ。これに比べると在来工法はオープ 手メーカの間では住宅用の木材の互換がきか 供給方式はクローズドシステムといって、違っ るのでしょうか。建築審議会の委員である巽 ていくようなやり方は、果たして合理性があ うでないと思います。一方、現在の林業・林 た会社相互で部材の互換性がない、例えば大 和夫京都大学名誉教授は大手メーカーの住宅 よりは大手メーカー中心にマーケットを移し 産業のおかれている立場から見て、在来工法 国民が望んでいるのかどうか。私は決してそ 出す建設廃材にしかならない木材を果たして か。シックハウスの原因であり、有毒ガスを を持つとしたら、それは正しいことでしょう しかし、国民全体の住宅問題に林業が責任

も沖縄でも、そしてどんな建築業者でも使えたけでは、木材の全体的な需要拡大にはつなたけでは、木材の全体的な需要拡大にはつなたけでは、木材の全体的な需要拡大にはつなたけでは、木材の全体的な需要拡大にはつながらないのです。大手メーカーが景気の良いがらないのです。大手メーカーが景気の良いがらないのです。大手メーカーが景気の良いがらないのです。大手メーカーが景気の良いがらないのです。大手メーカーが景気の良いがらないのです。大手メーカーが景気の良いがらないのです。大手メーカーが景気の良いがある。

なのですから、このメリットを生かした方が を取に決まっているのです。パソコンの世界 でも、OSのオープンシステムはむしろ合理的 在来工法のオープンシステムはむしろ合理的 でも、OSのオープンとが進んでいるように、 なのです。大手メーカの市場とともに、大工・ なのですから、このメリットを生かした方が あるのですから、このメリットを生かした方が

また、住宅産業というのは、産業連関表の生産誘発係数が最も高い産業の一つなのです。らいの資金が全体で動くような産業なのです。らいの資金が全体で動くような産業なのです。そして、住宅は生活の改善に役立ち、雇用の役立つ様にし、それに合わせた林業と木材産業、製材業などの姿を描くことが必要だと思業、製材業などの姿を描くことが必要だと思業、製材業などの姿を描くことが必要だと思常、製材業などの姿を描くことが必要だと思常、製材業などの姿を描くことが必要だと思な方式のジャストインタイム方式を強いることには、将来の確信が持てません。

うした認識が主流となっているのです。

がどの程度実行されるのかは各国の責任に委

アジェンダ(資料-11)を出しました。宣言

ねられるので予測できないが、世界的にはこ

(2) 住文化の在り方と市町村・協同組合の課題(2) 住文化の在り方と市町村・協同組合の課題は住宅である、住宅は地域の全資源を使ったといわれます。人間の最も具体的な環境問題は住宅である、住宅は地域の全資源を使って建てられるべきであり、自給すべきである。 (住宅問題の解決のために国家ばかりか中小規位宅問題の解決のために国家ばかりか中小規

来 担しうる価格であるべきである。そうした趣・ 体の環境問題の解決に必要である。住宅は自的 る。市町村による資源の分権的管理が地域全が、 一方を含む、同前)が主導性を発揮すべきであ界 が力を発揮すべきである。協同組合(森林組が 模の地方自治体(日本では市町村、引用者)

す。日本の状況はやはり普通ではないのです。 界の森林資源を浪費する。エネルギー多消費 在来工法の歴史、技術の継承と発展をはかる、 林業関係者は、わが国の住文化の発展を考え、 いに自信をもつべきだと思います。そして、 の住文化でした。この事実に林業関係者は大 理由でした。そして、それはまさに在来工法 分かちがたく一体となっていたことが第二の 困難にした第一の理由で、林業と在来工法が 化しませんでした。自然条件と気候が変化を 生活の中で、衣食に比べて住はそれほどは変 うか。戦後の徹底したアメリカナイズされた の住宅にする。住宅廃材はダイオキシンを出 て、そして欠陥住宅を数十年で建て替えて世 資源のない国がストックにならない住宅を建 われ、シックハウス住宅に住み病気になる。 狭い住宅を購入し、二世代ローンで借金にお どこから改善の手を着けたらよいのでしょ 生涯所得を超えるような高くて、遠くて、

のように思われるのです。 求められる時代では、それはごく当然のこと 生活と社会(文化)が市場を規制することが る、そうした時代に入ったのだと思います。 そのためには建築学校を作るくらい必要があ 市場が人間生活を支配するのではなく、人間

解を得て転載した) 月)に掲載された小論に、一部加筆の上、了 (「森林組合」第三四九号 (一九九九年七

三〇か国の普通の暮らし』TOTO出版、 ピーター・メンツェル『地球家族―世界

- 2
- 3 宅文化比較論』井上書院、一九九四年。 戸谷英世『アメリカの家・日本の住宅-住
- 題」『立命館経済学』第四七巻第五号、 一九九八年。
- 5 号、一九九九年四月。 推進からの国産材活性化-在来工法木造住宅 の見直しと林業振興」『農林金融』第六三八
- 6

謹んで新春をお祝いします

- 全建総連「第四〇回定期大会議案」一九九九
- 菊間満「経済国際化と日本の住宅・林業問
- 蔦谷栄一「景観および健康重視の木造住宅
- 太田邦夫『東ヨーロッパの木造建築―架構

- 7 形式の比較研究』相模書房、一九八八年。 増田一眞『建築構法の変革』建築資料研究
- 8 社、一九九八年。 菊間満『地域住宅市場の研究-在来工法住
- 宅と日本林業』日本林業調査会、一九九四年。 総連ブックレット七、一九九八年。 巽和夫『地域住宅産業の課題と展望』全建
- ラム編『住まいは人権』かもがわブックレッ ト一〇七、一九九七年。 日本住宅会議/ハビタット日本NGOフォー
- 組むハビタット』大蔵省印刷局、一九九八年。 国土庁長官官房参事室編『居住問題に取り

11

森林と共生できる社会をめざし今年も活動してまいります 玉 民

三喜男

役員 力

同

公益性と木材供給に配

森林経営者からの報告

きる知恵」、京都大学名誉教授の四手井綱英先 の手紙が華やかに大きく重く見える。 生と東京大学名誉教授の山口伊佐夫先生の自筆 い愚痴だけがある板橋興宗先生著「心豊かに生 「誰にも聞けないボケの本」、人生には失敗はな かさととらえている専門医・大友英一先生著 百歳の遺言」、少し変わった見方で森を心の豊 大自然主義を訴える・三島昭男先生著「七千二 北海道富良野の森・高橋延清先生著「樹海」、 組む・山縣睦子先生著「木を育て・森に生きる」 節先生著「自由論」、主婦から一転山林に取り の中でも特に、自然と人間のゆらぎの中で内山 私の寝室に大事な数冊の本がある。そ

言される警鐘が、これからの森林経営者として の共生共存の原点が先生方の経験から発言・提 きになられた書籍に勇気づけられる。森と人間 こうした先生方の体験や地域の調査を整理お書 厳しい森林・林業状況の中で生き抜く為、いま かと不思議に思われたことでしょうが、今日の なぜ冒頭に多くの先生方の御本を紹介したの

> 皆様と一緒に考えたいと思ったのです。 変動の激しい時でありましたが、針葉樹を中心 大切であることから、私の得た心の教訓として 一九三〇年~一九八〇年代は、戦争など社会

学の先生方が「持続可能な森林経営」に取り組 世界全体の環境財と位置づけながら、多くの林 林業技術(植林・育林)の時代であり、すべて とした皆找一斉拡大造林の経済林経営に進み、 益的機能の効用を国民が求め始めてきました。 林を木材(木質)資源の供給基地だけでなく公 速な外材輸入など様々な要因により、日本の森 を目標として来ましたが一九八〇年代頃から急 く大きいことが優秀な林業経営者であり、それ の林産物を販売その価値を数字に置き替え、高 森の木の緑化時代からさらに水や空気・健康・

に伴う管理工夫を訴えながら、森林文化及び森 能な経営と木材の需要と供給のバランス、それ 生方は、二十世紀前半より森林の公益的持続可 しかし、冒頭に紹介させていただきました先

むべき時代が来たのだと言う。

佐 藤 太 郎

(森林経営)

によってつくられ育つのである。 れることがない。長い時間と自然の空間・恵み 対応が生まれるのか森も木も一夜にしてつくら い、どのように管理され国民のニーズに対する するのか、二十一世紀は森林がどんな役割を担 林業経営とは何か、なぜ木を植え・木を必要と 森の機能を取り上げながら、森林経営とは何か、 の木や水との生活のかかわり大切さなど多くの

トを始める。 森林・林業を考えて見たらと教えてくれる。 枕元の本たちが私が目を閉じると森林サミッ もう一度ゆっくりとした生活スタイルの中で、

と言う、そして異口同音に愛する森のすべての 生きものたちのおかげである。 言うと、樹が「森が私たちを育ててくれたのだ」 森が「私をつくってくれたのは樹たちだ」と

樹を神として祀る共存思想もあった。 その中に人間の知恵や技術がある。又、森や しかし、一部の人間の考え方が私たち森や樹

生きものを主従の関係に置きかえようとしてい

て愛撫する。て愛抽る地球と人間に遺言として強い言葉をもって愛する地球と人間に遺言として強い言葉をもっる。困ったことだと語る。サミットの提言とし

ある。 道富良野の樹海が証人になるよと言い結ぶので間を裏切ることはない」南の島の縄文杉と北海間を裏切ることはない」南の島の縄文杉と北海

私は、そんなサミットを聞きながら、今、私 私は、そんなサミットを聞きながら、今、私 本掲げ、会則を定め活動を始め、今現在約三百 を掲げ、会則を定め活動を始め、今現在約三百 を掲げ、会別を定め活動を始め、今現在約三百 を掲げ、会別を定め活動を始め、今現在約三百 を掲げ、会別を定め活動を始め、今現在約三百 を掲げ、会別を記する。

すわり食べる。 あさんの手作り弁当を、草の上に敷物もせずにあざんの手作り弁当を、草の上に敷物もけずにないながら、にぎやかに森とふれあい、おか回定期的に森に来てくれる。三時間位かけ元気回を期かに森に来てくれる。

ことが多くなった。
濁っていない子供たちの目を通して教えられる段何気なく気付かなかった森の恵みが、澄んで段相気なく気付かなかった森の恵みが、澄んで

るの」様々な質問がくる。木を植え・せっかく大きくなった木を伐り捨て「なぜ、別の木を植えるのとか・なぜ、多く

自分では答えが分かっていても、幼児たちに

感じる。 理解してもらえる言葉が出てこないのに驚きを

考え見たことのなかった私が、一九九一年の強きな見たことのなかった私が、一九九一年の強を贈り共存共栄を願っているように感じる。ジを贈り共存共栄を願っているように感じる。めらね」と言う言葉で別れる。

所短所を知ることが出来た。

「例外的な激甚災であると思っていたが、森をの外的な激甚災であると思っていたが、森を通台風で多くの被害をうけた。

側(生産者)であった。自身が木材(木)の消費者にならず、常に売る自身が木材(木)の消費者にならず、常に売る格が生産費割れなど厳しい現状を考える時林家格が生産費割れなど厳しい現状を考える時林家

要を強く感じる。
を強く感じる。
要を強く感じる。
要を強く感じる。

何かを求めつつ多くの人々が森に入りお手伝いの水」森林化社会をめざして、森林の健康とはしくは森林ボランティアを受け入れながら、心能を持つ所有林を一部でも一般市民に開放・も能を持つ所有林を一部でも一般市民に開放・も

とを夢みて報告書といたします。としたリズムの中で風のささやき、鳥の歌声りとしたリズムの中で風のささやき、鳥の歌声を聞きながら公益的機能ををも取り込み、木材を育てながら公益的機能ををも取り込み、木材を育てながら公益的機能ををも取り込み、木材を引きながられば、木を伐り・木を植え・森が活性化され、森本来のゆっくとを夢みて報告書といたします。

『国民と森林』

― ご意見をお寄せ下さい —

るテーマについて読者の意見を求『国民と森林』が今後取り上げ

めています。

ていきます。
で論議し具体化しい。編集委員会で論議し具体化し

国民森林会議

『国民と森林』編集部

緑林認証と林業経営

○速水 でございます。よろしくお願いいたしまの速水でございます。よろしくお願いいたしま「重県

きょうは、「森林認証と林業経営」という課

いかと思っております。証という見方をとっていただいていいのではなあるいは持続性を確保した森林経営に対する認為林認証と申しますのは、森林の環境認証、

ンシルと呼ばれているFSCがあります。 認証とフォレスト・スチュワードシップ・カウここに出しましたISO14001にかかわるが動いているわけでございますが、世界的には国によっては個別の森林の環境認証というもの国によっては個別の森林の環境認証がございまして、

たが、その近くになるのではないかと思います。も太い木がメキシコに有ると紹介されていましす。この間、NHKの世界の巨樹の番組で、最はメキシコのオアハカという町に本部がありまはメキシコのオアハカという町に本部があって、FSC

ております。

日本では、既にISOという認証に関しましてはフィルムのISO400だとかISO10ということで、国際標準化機構というのですけれども、商品の一定の規格として動いておりますので十分ご存じかと思いますが、今までのますので十分ご存じかと思いますが、今までのませので十分ご存じかと思いますが、今までのますので対して認証を与えようということがISO900という形でISO900の保証という形でISO900の保証という形でISO900が有効になってきたわけで、既に公共事業ではISO900の保証という形でISO900の保証という形でISO900の保証という形でISO900が有効になってきたわけで、既に公共事業ではISO900をする。

て負荷を少なくしようという動きの中で認定さ14000というのは、その後、環境に関し

速水亭

(紐日本林業経営者協会理事)

間、つまり関係者に対し認証を取る。間の信用をお互いに高める認証なのです。業者れてきたわけですが、9000というのは業者

ところが、14000シリーズというのは、 もっと倫理的な部分が強くなっておりまして、 中般の人々に対して自分たちの工場とか製造過 一般ので、9000と14000は同じISOで すので、9000と14000は同じISOで も考え方が大きく違ってきているということに も考え方が大きく違ってきているというのは、 ところが、14000シリーズというのは、

その中で、私自身は平成八年から、ISO14061という文章をつくる会議と関係しました。14061という文章をつくるうではないた。14061という文章をつくる会議と関係しました。14061という文章をつくる会議と関係しました。14061という文章をつくろうではないために、ISO1

いという議論があったのですが、ISOというけをもう少し詳しく独自にやらなければいけなその中で、いろいろな議論があって、森林だ

考え方なのです。 性格上、やはり森林管理に当てはめるのだというおけにはいかない。森林関係者は、森林というものは特別なものなのだから特別に扱いたい。ものは特別なものなのだから特別に扱いたい。中を林業なり森林管理に当てはめるのだというをがまれている。

たわけです。いうことで手引書ができたのが14061だっいうことで手引書ができたのが14061だっそこで読みやすい指示書をつくりましょうと

八年から関係しました。
本文はそんなに長いものではないのです。それをものをつくろうということになって、私は平成はがに適応させる仕組みがわかるようにというな業に適応させる仕組みがわかるようにというものをつくろうというものをたくさんつけまのかわり、例示文というものをたくさんつけまして、それぞれをみていものではないのです。そ

最初は、ごく簡単な説明があってやってくれる会議に出るようになりました。

ば、生物の多様性だとか経営の維持、資源の維かに満たしていくかということなのです。例えたのは、所有規模の小さい方々がこの基準をい特に14061ができる段階で大変問題になっ

けでございます。
けでございます。
けでございます。
けでございます。
は、一へクタール、一団地をおもちの方が切ってしまっては資源の維持も何もなちの方が切ってしまっては資源の維持も何もなちの方が切ってしまっては資源の維持も何もなけでございます。

状態なのです。 て、何をしゃべるのかちょっと整理ができない 頭の中はISOではなくてFSCの認証に固まっ 間がないというのが正直なところでして、今、 ということで努力し始めたわけでございます。 場において前向きにとらえてみようではないか ら続けてきた経過の中で、こういう森林認証が て、きのうの夜も含めて、今、その準備で寝る 実は九月二〇日から私の山で認証が始まりまし 初に申し上げたFSCというのがございます。 のご説明を申し上げたのですが、もう一つ、最 最後に一枚ついていると思います。今、ISO あることに気がついて、ひとつ自分が経営の現 ら経営の中で環境問題というものを重視しなが え始めました。それはなぜかというと、みずか 営の現場に置いて、この段階から前向きにとら 皆さんのお手元に「林政ニュース」の記事が 私自身は、森林認証制度というものを林業経

増大と絡んでできてきた制度です。境配慮型の商品の選択的購入者という人たちのすけれども、グリーンコンシューマーという環すけれども、グリーンコンシューマーという環

うにシステムを中心とした認証であるというこISOというのは、先ほど申し上げましたよ

制度なわけです。

我々がやるのはなかなか難しいというのが正直 ばいい。そういうことで、出てくる森林の管理 ざいますので、ISOのような規模はもってお ないだろうという気持ちはありますけれども、 は大企業のやり方なのだと。やってやれなくは 000シリーズの会議に出ながら、やはりこれ で出てくる基準でございます。私はISO14 の原則や基準というのは、その三者の検討の中 のではなくて、三分の一の一票と理解していれ とをはっきり明記しますと、それは一票をもつ たときに、自分たちがどこに属するかというこ り製材工場だとか製紙会社、林業も含めて、経 学者のグループです。一つは、利益団体、つま NGOや環境団体を含めた市民団体。一つは、 は、物事を決めていく段階で三者の権利を同一 りません。ただし、FSCのおもしろいところ な感想でした。 済行為を行う利益団体。その三者が会員になっ に扱っています。その三者というのは、一つは、 FSCというのは林業だけに限った制度でご

境団体からコンタクトがあるわけです。その中そういう会議に出ていますと、いろいろな環

で、FSCを日本で広げようとしていたWWF (世界自然保護基金)の日本委員会からコンタクトがございまして、話を聞く機会がありました。ISOの中でもFSCの基準というものがた。ISOの中でもFSCの基準というものがた。ISOの中でもFSCの基準というものがループ、そういう人たちと学者と企業という三し上げたように市民、消費者グループ、環境グループ、そういう人たちと学者と企業という三とでお聞きをすると、先ほど申あったということでお聞きをすると、大変お者のつながりというのは今までにない、大変お者のつながりというのは今までにない、大変お者のつながりというのは今までにない、大変お者のつながりというのは一番を関するという。

例えば、環境団体の中にグリーンピースみたとで勉強し始めました。

されていくのだろう。
されていくのだろう。
されていくのだろう。
されていくのだろう。
されていくのだろう。

もっていくのかというところ。マーが増大していく中で、経営方針としてどうの商品の選択的な購入者、グリーンコンシューの市の選択的な、今申し上げたように、環境配慮型

している。ISO14000のときに、一番強木材輸出国が大変積極的にこれを推進しようともう一つは、ISO14000等を含めて、

とに大変危機感を感じた。に非除された形での選択というものが起きることすり、木材輸出国が、こういうグリーンコンのはカナダであり、ニュージーランドでした。のはカナダであり、ニュージーランドでした。

環境団体が環境保護を強く訴えることで、選 です。そういう意味では、人によっては ということで、ISOという組織の中でそれを ということで、ISOという組織の中でそれを ということで、ISOという組織の中でそれを ということで、ISOという組織の中でそれを なのです。そういう意味では、人によっては I いうのはまがいものだという意見も当然あるわ いうのはまがいものだという意見も当然あるわ いうのはまがいものだという意見も当然あるわ

ただし、私が出ていたISOの会議などをみただし、私が出ていたISOの会議などをみたらが出てこられるわけです。ところが、例えばアメリカでもたらウェアハウザーだとかスウェーデンですしたらウェアハウザーだとかスウェーデンですと大きなパルプ会社だとかそういうところの役員をやっている人たち、あるいは環境担当の人たちが出てこられるわけです。

うのは伐採量に比べれば貿易量は大した量になっいをカバーする会議になるわけです。木材といども、委員だけで世界の木材貿易量の半分ぐらとれは小林さんと二人で話していたのですけれている木材量をみていきますと、出席者の扱っている木材量をみていきますと、

人工林林業の踏み絵になってしまう可能性がある。な踏み絵になってくるわけです。特に私自身はな踏み絵になってくるわけです。特に私自身はながらも、認証制度をISOの中でどうにかまな問題です。その人たちがいろいろな議論を経たてこないわけですが、日本にとっては大変大きた

意識が増してきたというのが事実でございます。意識が増してきたというのが事実でございます。以前、木材乾燥に関して国産材がおくれました。それは私自身の考え方でも国産材がおくれました。それは私自身の考え方でも国産材がおくれました。それは私自身の考え方でも国産材がおくれました。それは私自身の考え方でも国産材がおくれました。それは、外材の方がくるいが出たりというのが実際、あったわけです。

材需要の中でほんのわずかしかないのです。材というのは今でもわずかしかない。世界の用すというのは今でもわずかしかない。世界の用を度の狂いが大きな狂いとみられるようになり程度の狂いが大きな狂いとみられるようになり

の意識があったわけです。というのはそういう世界になる可能性があるときな木材マーケットに打って出ることは全然できな木材マーケットに打って出ることは全然でしかし、日本では乾燥が行われない限り、大

話が出てきます。 は林業経営の環境認証の話をしますと、二つのただし、日本でこういう森林の環境、あるい

日本はずっと林業を続けているのだと私は日本はずっと林業を続けているのだという意見。私が感じるところ、林業だけをやってきた人たちではないグループが入ったところできた人たちではないグループが入ったところできた人たちではないがループが入ったところできた人たちではないがのでもっと細かい部分に配慮して、環境に対して積極的に配慮を行っているのではないか。一般的な人々の支持を得るためにはそれが大事なことですし、我々林業を続けているのだから、あ日本はずっと林業を続けているのだから、あ日本はずっと林業を続けているのだから、あるためにはそれが大事なことですし、我々林業を続けているのだから、あ日本はずっと林業を続けているのだと私は

はまた後でお話しします。 でに、認証は大変むだが多い。環境的な配慮 なに、認証は大変むだが多い。環境的な配慮 なに、認証は大変むだが多い。環境的な配慮

理解しております。

題等を含めて補助体質からの脱皮につながるのが、森林認証というのは、さっきのコストの問最後に、これは私の個人的な考え方なのです

まかったわけですが、今はどうも違う。とかったわけですが、今はどうも違う。なではないかという気持ちをもっております。なではないかという気持ちをもっております。なではないかという気持ちをもっております。なではないかという気持ちをもっております。なではないかという気持ちをもっております。なではないかという気持ちをもっております。なではないかという気持ちをもっております。なではないかという気持ちをもっております。なではないかという気持ちをもっております。なではないかという気持ちをもっております。なではないかという気持ちをもっております。なではないかという気持ちをもっております。なではないかという気持ちをもっております。ない方にないが、

そういう中で、別にこれをやったから補助金をもらえるわけでも何でもない。やはり、認証をもらえるわけでも何でもない。やはり、認証をあらえるわけでも何でもない。やはり、認証をあらえるわけでも何でもない。やはり、認証がとか、東京からほかの方に来ていただく運賃だとか、東京からほかの方に来ていただく運賃だとかを払うと、全部で四百何十万になる。それだけ払わなければいけない。

とれは補助金でも何でもないわけです。自分とれば補助金でも何でもないわけです。自分に できいったときに、私は補助体質からの脱皮のチャなったときに、私は補助体質からの脱皮のチャンスになるような気がします。

して簡単に説明します。既にご存じの方もいらっ次にグリーンコンシューマーの動きを流れと

うように訳せばいいと思います。た環境的に配慮された商品の選択的購入者といしゃると思うのですけれども、先ほど申し上げ

英国では、既にFSCの認証を受けた木材が 一〇%消費されている。消費の二〇%がFSC の認証木材。ISOの場合、認証を受けた森林 の認証木材。ISOの場合、認証を受けた森林 の認証木材。ISOの場合、認証を受けた森林 のですが、最終消費者までFSCのマークのラ ベリングが可能です。

英国の木材消費の二〇%というのは小さいの 英国の木材消費の二〇%というのは木材輸入 国、日本と大変似ている。日本の木材の国産材 国、日本と大変似ている。日本の木材の国産材 は、比率からみれば、日本の国産材の割合がす は、比率からみれば、日本の国産材の割合がするでで認証木材だといえる。私としては大変大きな動きだと理解している。

けた南米産の認証木材のキーホルダーを時計の 大切のでは、グリーンコンシューマーの動きに には、グリーンコンシューマーの動きに には、グリーンコンシューマーの動きに をいうことなのです。英国は、逆にFSCの認 にが少なかった。その両方が理由で、北欧から 本材が出てくる。となると、日本だって認証に なくれをとるとどうなるかという話になります。 日本でも、昨年カシオがFSCのマークをつ 日本でも、昨年カシオがFSCのマークをつ

たの当時、日本人でFSCを知っている人は をの当時、日本人でFSCを知っている人は をの満にFSCの木のマークが入ったキーホル をの横にFSCの木のマークが入ったキーホル をの横にFSCの木のマークが入ったキーホル をの横にFSCの木のマークが入ったキーホル をの横にFSCの木のマークが入ったキーホル をの横にFSCの木のマークが入ったキーホル をの横にFSCの木のマークが入ったキーホル をの横にFSCの木のマークが入ったキーホル がっいている。それで、一気にその商品が がったが、カシオ

として差別化を図る。小売業で身近な商品を環境的に優しいエコ商品い売業で身近な商品を環境的に優しいエコ商品ということです。当然、ここは木材に限らず、ということです。当然、ここは木材に限らず、というできるが かっしょう として差別化を図る。

きてくる。その辺のアンバランスというか、うきてくる。その辺のアンバランスというか、うたちがでにそういうかきは一生懸命いっていますと、一般の消費者というところが、現在ではそういう動きを受け入れるための木材流通というものが、環境的な木材るための木材流通というものが、環境的な木材るための木材流通というものが、環境的な木材るための木材流通というものが、環境的に配慮された林業なのだということをいう動きは今、日本では全くだれも考えていないし、だれも動いていない。ところが消費者はいう動きは今、日本では全くだれも考えていない。ところが消費者はいいし、だれも動いていない。ところが消費者は環境的に配慮された林業なのだというというが、うというが、うというは、私が下SCだけではなくて、私の林業最近、私が下SCだけではなくて、私の林業

しく話したくないのですが。 生方がたくさんいらっしゃるので、あまりくわ 生方がたくさんいらっしゃるので、あまりくわ 生方がたくさんいらっしゃるので、あまりくわ とう話したくないのですが。 とかわれます。これは釈迦に説法で、怖い先 とうがたくさんいらっしゃるので、あまりくわ とう話したくないのですが。

具体的にいいますと、私が予備審査を受けたそれは大変細かい話になります。るのではなくて、それを確保するための行動。るのではなくて、それを確保するための行動。るが一番問題なわけです。多様性が注目されるが一番問題なわけです。多様性の確保に対する林認証において、生物多様性の確保に対す

せん。枯れているから売れない」「あの木が置 ときに、皆伐の現場にアメリカの方から審査官 搬出していた。たかだか五、六本だったと思う 林でそれを皆伐して植栽をするというときに、 起きません」。 るものに対して何か問題が起きるか」「問題は いてあったりしたら、その木から次に更新?す 山に立っていたら、あるいは切り倒したまま置 木につくか」「いやつきません」「病気はあるの?」 はいる。虫だらけですから」「その虫は次の苗 いてあって、何か虫でもいるのか」「それは虫 のです。林道の横に置いてあった。そこに来て 枯れ木があって邪魔になったわけです。切って、 に来ていただきました。台風の被害を受けた森 「病気はよくわかりません」「もしあの枯れ木が あの木は売れるか」といったら、「当然売れま 具体的にいいますと、私が予備審査を受けた

はい木のためにおまえたちは一生懸命あれをれない木のためにおまえたちは一生懸命あれを動をした。せっかくそこに生物多様性が確保できる大きなポイントになる枯れ木というものを、きる大きなポイントになる枯れ木というものを、きる大きなポイントになる枯れ木というものを、おまえたちは搬出してしまった。大いに反省しろという話がありまして、枯れ木も山のにぎわいと日本人はよくいったと。これこそもう一度いと日本人はよくいったと。これこそもう一度に返らなければいかんということで残すことにしました。

かという話が当然出てきます。とにトカゲが干からびて死んでます。カニが死んでる。それを考慮する必要があるのではないかという話が当然出てきます。カニが死のであるいは、林道でU字溝であるがために、そ

り緩衝帯として働くのです。す。これが環境の変化に対するバッファーつます。谷から五メーターぐらいは、植生を残します。谷かは五メーターぐらいは、植生を残しまり緩衝帯として影響を少しでも小さくする事で今度は私自身が考えている事は皆伐のときに、

方で、こういう多様性を確保する。があります。それを五メーターで辛抱していたがあります。それを五メーターで辛抱していたがあります。それを五メーターで辛抱していたがらの一つのサイクルに必要なバッファー産卵してからの一つのサイクルに必要なバッファー

めただけということもあります。それが、さっいうと、今までやっていた要らないコストをやに一つとして余分にコストはかからない。逆にしかし、今、私がやろうとしていることにな

いろな意味でもっと注目をされて良いと思いま ことで、生物多様性の確保というものは、いろ きのコストの問題とつながってくる。そういう

ふやす努力をしようではないかという考え方で いいかと思います。 やすことができるわけです。であれば、確実に しかし、小さいからこそ、努力次第で確実にふ とかというのは、今申し上げたような、ロット は天然林と比べれば人工林がはるかに小さい。 人工林における多様性というのはいかなるこ

があるのだ。それを人工林としてやっていくこ ともできるのだというように思っています。 条件を林分に、広い林分であれば与える可能性 の中で、どの環境でも生物が選択できるような ブランチとして扱う。一つの生物の生涯の流れ ながら、いろいろな林分の樹齢や林相を、その のある部分の一つの生物多様性の核として扱い ある一定の広さを管理できるならば、その広さ りパッチワーク上の樹齢を考える。あるいは、 うし、隣接する林分の樹齢構成を考えて、つま 単純に一つの林分だけを考えてもいいでしょ もう一つ、遺伝子レベルの多様性。これは、

うと思います。資料の提示。 歴史というものを説明しなければいけないだろ りました。これは、日本でも問題になると思う。 認証機関に対して、日本は杉・桧を植えてきた 又、例えば、ニュージーランドです。ラジア

ISO14000の会議のときに大変問題にな

タパインの育種というものが問題になります。

なります。 部分で、生物多様性ということでは大変問題に 彼らは物すごく細く遺伝子を絞っていこうと努 力する。日本以上に細く絞っていく。そういう

す。 織がとっております。フランスもとっておりま で認証を受けるというシステムがあって、既に しれませんね。これはどうなるという議論です。 は、遺伝子のロットは一けたぐらい違うのかも いろなとらえ方があります。ISOでは、共同 ノルウェー、フィンランドなどは大きな共同組 あと、小面積所有での考え方。これは、いろ あるいは、挿し木。恐らく、挿し木と実生で

理型と言って、資源を管理する責任者が所有者 というものを実効のあるものにしなければいけ やり方です。そういう形で、小面積所有の認証 には、FSCのロゴマークをつけられるという 認証をとってしまう。それによって、森林で資 と納得の合意のもとで、資源管理者がFSCの 多分、高知県などは今度認証を受けるのにこの 源管理者が管理をしながら木材を販売したとき 方法を使うのではないかと思いますが、資源管 つは、今いったような共同認証。もう一つは、 FSCの場合は幾つかやり方があります。一

のかというものがはっきりわかっていれば、極 ざいます。それは、自分がどのような木を使う な工場で生産しているというところが、数へク タールの面積で認証をとっているという例もご ただし、外国の例で、例えば家具用材を小さ

> 個人でもとれるでしょう。 めて生産をしていくということが可能であれば、 く数を、その山から、高樹齢から若い山まで含 というよりも、クラフトの世界で売り出してい めて狭い面積で、自分の家具のマニュファクチャー

ちょっとむだがあるような気がしていました。 点でポイントが高いといわれる。 まして、運べる単位で全部集めてくる。私は、 を一ヵ所で造材しているのです。粗い造材をし ところが、認証機関の話を聞くと、幾つかの 例えばもう一つ、実は、私の山はすべての木

めなのです。そういう点では、一ヵ所に集める 必ず売りなさい。売れるのは、最も市場価の高 れるのは、売れる木は絶対に山から出しなさい。 きに残る残材の処理が効率的である。 方が効率がいい。そして、一ヵ所に集まったと と。それから、売れる木は全部売らない限りだ 売ることが、その資源にとって一番有効なのだ さい。つまり、その木を最も欲しがる人たちに い価格で売りなさい。その努力を最大限続けな るというメリットがある。認証の際に重要視さ 一つは、各市場に向けて細かい仕分けができ

用しなさい。 いと。今度、そういう話があるわけです。売れ る木は全部出しなさい。出した以上は、全部利 もう一つは、山から出た木は全部利用しなさ

にまとまっていれば有効利用できる。ところが、 片とかありますでしょう。そういうのも一ヵ所 のですけれども、そうなると、切ったときの破 矛盾がちょっとあるような気がしなくもない

認証が行われているということです。のまり、そういうところまでコストを考慮したそういう点で、一ヵ所にした方が評価が高い。しまうとむだになるということになるわけです。山で搬出はしたのだけれども、そこで造材して山で搬出はしたのだけれども、

務の問題まで、チェックをされる。 もちろん経営の持続性の問題というのは、財

とだということがまず第一点。とだということがまず第一点。とだということが、まずは資源量、生配慮すべきかということは、まずは資源量、生配慮すべきかということは、まずは資源量、生をどこまで償却できるかという問題は、さっちがということがまず第一点。

うのは大変大きいということ。いということは、財政の問題といいということ。ということは、財政の問題といですが、その経営が持続することが環境に正してすることが環境に対して正しいということなのなに、財政的持続性。つまり、認証をとった

るかという議論になる。とれから、日本の場合、ISOも含めてです。現在、FSCをやろうとしているところでも、どうもその傾向が強過ぎると思う。どのようにすれば認証はとれば過ぎると思う。どのようにすれば認証はとれ

その行為自体が、この書類が必要なのだ。あののか、とろうとしないのかなのだと。そして、証がとれるのではなくて、認証をとろうとする私は、認証というのは、どのようにすれば認

書類が必要なのだではない。経営者が、環境に 書類が必要なのだではない。経営者が、環境に 書類が必要なのだではない。 をまず理解してから認証行為にいかない限りだ からとれないのだとかではなくて、その経営自 からとれないのだとかではなくで、その経営自 からとれないのだとかではなくて、その経営自 からとれないのだとかではない。 が環境とどう絡み合っていくのかということ をまず理解してから認証行為にいかない限りだ めなのだと。どうしても日本の場合は、技術論、 ノウハウ本が大事にされすぎるような気がしま す。

私は、一般企業はともかくとして、森林に関しては、森林という実態がある以上、ノウハウしては、森林という実態があるにしても、その環境の環境的管理の方法があるにしても、その環境を森林経営の中でどう考えていくか。まずそこに立脚しない限り、ノウハウ本では、森林の認証や環境管理というものは、私は、一般企業はともかくとして、森林に関のだと思っております。

あと、生産物以外の生き物に対する気配り、あと、生産物以外の生き物に対する気配り、活動のを用体産です。動物もそう。シカもカギシカも、害獣でです。動物もそう。シカもカギシカも、害獣でもなくて山にすむ生き物、 私はそうではない。これは生物多様性という言葉であらわしてしまってれば生物多様性という言葉であらわしてしまってはなくて山にすむ生き物に対する気配り、あと、生産物以外の生き物に対する気配り、

その中で、どうやって共存を図るかというこ

特に経営者というのは、私は、自分のところと入ってこなければだめなのだろうと思います。と入ってこなければだめなのだろうと思います。っ意味で、林業は山をふろしきに入れて逃げるわけにはいかないという経営である限り、地域やけにはいかないという経営である限り、地域に対して、経営者も、そして、そのもとに働くに難員も、その地域との連携を大事にする。

正直いえば、私の木は高い。安い中でも高いたというのは、私は大変うれしい。安い中でも高いな世界になってしまって困っているのです。それでも、どこかに使ってみたいという話があるわけです。それは、ただの高級だけでは絶対にそんな話はこなかったところが、私がこんなことをやろうとしただけで、興味をもってもらいたというのは、私は大変うれしい。

きないけれども、例えば九州などで考えれば、私のところは、大量の注文に対しては対応で

す。

さいできる。差別化ができるわけです。そうとができる。差別化ができるわけです。そうとれる条件をつくれば、彼らは、そこに入れるとてが環境認証とれるとは思わない。しかし、大変おもしろい。もちろん、今のままで九州の

生物多様性の問題というのは、考えているほ生物多様性の問題というのは、考えているほど難しい取り組みではないと思います。もちろん、広葉樹林と比較をして、人工林の中で、ステップ・バイ・ステップで少しでも多様性を確保する努力というか、意識さえもてば、多分、レベルの上げられると思います。ワンランク高いレルは上げられると思います。ワンランク高いレルは上げられると思います。ロンランク高いレルは上げられると思います。サンランク高いレルは上げられると思います。もちろと難しい取り組みではないと思います。もちろと対している。

力をすればできる。というものを、生物多様性に注目して動かす努ではなくて、微生物も含めて、森林のサイクルではなくて、微生物も含めて、森林の数だけ

た。 おけになる。日本の林業というのは、日本の というものがほとんど存在し得な で縛られた施業だと思っております。合理的 で縛られた施業だと思っております。合理的 でがになる。日本の林業というのは、私は、慣 がけになる。日本の林業というのは、私は、慣 を がはになる。日本の林業というのは、日本の

そういう意味では、環境という切り口でいく

す。 業者みずからの理解が一番大事だということで考えた場合、一気に変化する可能性がある。林か。コストという意識をしながら新しい施業を

環境認証というのは大変有効です。 そして、雇用者の意識改革の手段としては、

し議論しています。いだろうと思っております。今も私はそこを少いだろうと思っております。今も私はそこを少に適応させるために基準改変しなければいけな将来の展望としては、国際基準を日本の森林

実にリードしているわけです。 続性という部分では、ほかの世界に比べれば確り日本の森林というのは、一番最初にいった持ができるだろう。それはなぜかというと、やはいうものを世界に対して日本から発信すること

のまり、一〇〇下、二〇〇下のナイカレの木のまり、一〇〇下、二〇〇下の井です。 否定したら、アメリカの歴史を否定することにまえのところの持続性、サステナビリティーをまえのところの持続性、サステナビリティーをは一体どれぐらい続いているのだといわれて、お証団体の人がうちに来たときに、速水林業認証団体の人がうちに来たときに、速水林業

解できると思います。

「世界的にみれば大変貴重だということが理は、世界的にみれば大変貴重だということが理けサステナビリティーをもったところというのは、もちろん世界各国やっていると業というのは、もちろん世界各国やっていると業というのは、もちろん世界各国やっていると

るものではないと思います。FSCに於いても最後に森林認証は全ての林業経営が取得でき

続く認証挑戦者が現れることを期待します。一つの方向を指し示していると思います。私にません。しかしやはり認証は日本の林業経営のに寄与することで、魅力を出している点も否めものがあります。また認証自体、経営の差別化要求される条件は、現在の日本林業では厳しい要求される条件は、現在の日本林業では厳しい

林業経営の国際スタンダード目指す速水林業が日本初、FSC認証取得へ

三重県の林業経営者、速水亨氏(速水林業)が、 下SC(Forest Stewardship Council)の森 林認証を日本で初めて取得する。カリフォルニア の認証機関SCS(Scientific Certification Systems)と九月中旬に契約し、審査手続きに から生産された木材(FSC認証材)としてラベ のこの差別化が図られるこ

れていることも条件となる。とうか。生態系などの環境配慮が計画に盛り込まする施業計画が明確に示され、実践されているかする施業計画が明確に示され、実践されているかは、持続可能な管理経営を実現

認証取得にかかる費用は約四百万円とみられていることも多件とたる。

FSCの森林認証制度を推奨しているWWFである。グループ認証などによって負担を軽減でられる。グループ認証などによって負担を軽減であ方法もある」(WWFジャパン)と説明してする方法もある」(WWFジャパン)と説明しているがいる。

林政ニュース(11・9・8)で紹介

天竜林業を日帰り見学

天竜林業の父・金原明善翁

会だった。

話が車中ではじまった。 話が車中ではじまった。 話が車中ではじまった。 話が車中ではじまった。 話が車中ではじまった。 話が車中ではじまった。 金原沿山治水財団の大石保事業課長みずから

天竜林業の父といわれる金原明善は、明治初

年の天竜川大洪水を機に、治水事業に私財を投い、身を挺してこれに当たり、大きな成果をあげた。そして「河を治むるは、山を治むるにあり」との固い信念を抱くにいたり、明治十九年り」との固い信念を抱くにいたり、明治十九年り」との固い信念を抱くにいたり、明治十九年り」との固い信念を抱くにいたり、明治十九年の一八八六年)から龍山村瀬尻で植林に着手、明治末年までに近隣の山を含め一、二〇〇へクタールにおよぶ植林を敢行した。名利をかえりなず、公益に尽くす同翁を慕う人々は多く、同為のこの実践が刺激となって、天竜川流域に現るのような美林が形づくられるようにない思いない。

天竜林業の歴史を溯れば、さらに古く約三百天竜林業の歴史を溯れば、さらに古く約三百天竜林業の歴史を溯れば、さらに古く約三百天竜林業の歴史を溯れば、さらに古く約三百天竜林業の歴史を溯れば、さらに古く約三百

績を抜きにしては語られない。な林業先進地となったのは、やはり金原翁の功天竜川流域一帯がスギの美林に覆われ、全国的たと伝えられている。このような先史はあるが、

杉

(国民森林会議幹事)

成長抜群の天竜林業

(昭和三十二年県調査の平均成長量七・二面)。 大電林業の中心地帯は、天竜市、佐久間町、 大電林業の中心地帯は、天竜市、佐久間町、 大工林の景観が見られる。林業技術の面では、 たるまで、余すところなく植えられ、典型的なたるまで、余すところなく植えられ、典型的なたるまで、余すところなく植えられ、典型的なたるまで、余すところなく植えられ、典型的なたるまで、余すところなく植えられ、典型的なたるまで、余すところなく植えられ、典型的なたるまで、余すところなく植えられ、典型的なたるまで、余ずと、大工林の景観が見られて、大工林の景観が見られて、大工林の景観が見られて、大工林の東西が加入。

みごとな精英樹・瀬尻学術参考保護林

さて、私たち一行が最初に見学したのは、瀬

ギの下に十五年生のスギが元気よく成長してい 二段林施業の実験が行われ、八十年生ほどのス がした。学術参考林の向かい側の国有林では、 あくまで通直、美しい姿に身も引き締まる思い 胸高直径約一メートルに達する。真円にして、 のあるこの大木は、樹高実に四十六メートル、 土で、やや湿潤、腐植に富み、一へクタール当 るのを望見した。 に圧倒された。水窪管内の精英樹第一号の標記 スギが天にもとどく勢いでそびえ立っているの ルとなっている。入口近くに、ひときわ大きな たり立木四七一本、蓄積一、二〇五立方メート よると、ここは北西に面する中傾斜の深い砂壌 る森林である。水窪森林管理センターの資料に 年の大木が整然と並んで、威厳をさえ感じさせ 五十三年実施)程度に止めている。樹齢百十一 持するため、施業は適度な間伐(前回は昭和 〜七○○メートルで、現状のみごとな林相を維 に指定された。面積約三へクタール、標高六〇〇 施業の参考にするため昭和二十三年から保護林 尻学術参考保護林である。明治二十一年に金原 かでも最良の成育を示す林分として、人工造林 翁が植林、献納したスギ林で、瀬尻国有林のな

木の香のかおる明善荘で懇談

劣らない美林である。月花さん、大石さん二人さんの山林も手入れが行き届いて、財団の林に財団所有の美林が続く。これに隣合わせた月花善荘(佐久間町)に向かう。立派な林道沿いに善荘(佐久間町)に向から、金原財団経営の明学術参考林を見学のあと、金原財団経営の明

をいただよう。月花さんの奥さん手作りの豚汁香がただよう。月花さんの奥さん手作りの豚汁香がただよう。月花さんの奥さん手作りの豚汁香がただよう。月花さんが神主を勤める神社の森をいただき、弁当を食べながら、話がはずんだ。林業をめぐる環境の厳しさに関連した話題が多かったが、月花さんが神主を勤める神社の森多かったが、月花さんが神主を動める神社の森子万円の値がついた名木だったとの明るい話もあった。

すぎ解散した。 を見学し、JR飯田線・中部天竜駅で午後四時を見学し、JR飯田線・中部天竜駅で午後四時ルともいえる佐久間ダム(昭和三十一年完成)

参加者(敬称略)

(事務局)小田米八、松本佳子。勝哉、古野雅美、松原美省、山田純、渡辺桂。林金三、小林正美、島嘉寿雄、杉本一、瀬田大内力、雨宮弘子、榎戸勇、川上仙太郎、小

金原明善翁の略歴

天保 三年(一八三二年) 金原明善(幼名・

川氾らん。天竜川水害防御策を応 四年・明治元年(一八六八年) 天竜

水思想の普及に尽力 命じられる。私塾を開設し、治明治 五年 浜松県より天竜川御普請専務を

明治 七年 天竜川通堤防会社を設立(治河

情、三条実美、岩倉具美にも面明治一○年 大久保利通に天竜川について陳明治 九年 治河協力社付属水利学校を設立

明治一一年 明治天皇巡幸途上、治河協力社

明治一九年の瀬尻で植林開始

大正一二年 逝去。従四位、勲三等宝章を受

金原治山治水財団

昭和十三年に金原疏水財団を改称。静岡県、昭和十三年に金原疏水財団を改称。静岡県、

室などを備えている。 室などを備えている。 室などを備えている。 は、のなかに研修室、宿泊室、自炊室、浴材使用の木造平屋建て一棟(二一四平方メーした。明善翁の植えた木も含め、すべて地元り、その前の広場に今年六月、明善荘が完成り、その前の広場に今年六月、明善神社があり、その前のなかに小じんまりした明善神社があ

天竜林業観察体験記

ながらもご同伴させて頂けるようにお願いしま は人一倍という程度であり、場違いかなと思い という森林に造詣の深い方々の視察であり、私 ば「国民森林会議」の方々の「天竜林業視察」 挙げ是非にとお願い致しました。後でよく聞け 事で「はい、よろしくお願いします。」と手を とのお話がありました。私は何も知らないのに 前に治山治水の為に植林された森林を見ないか. 心中波打つものがあるようです。10月9日、10 のように森林にはほとんど経験がなく興味だけ 協連専務理事)から「天竜川の上流に一〇〇年 日のJUONN理事会で小林理事(全国大学生 「天竜川」と聞いただけで心ときめき、二つ返 「天竜川」この言葉の響きが私には、何故か

ら新聞を!(ただいま社会人学生として自宅を ました。朝食を何時ものように一人で摂りなが 過ごさない様にと寝たせいか五時過ぎに目覚め 前夜から眠れなく六時に目覚ましをセットし寝 11月6日はよく晴れた秋の最高の日和でした。

> 時五分過ぎに到着、二〇分の集合に全員そろい り号、名古屋でこだま号に乗り換え浜松駅に九 屋で快速に乗り換え新大阪駅七時一〇分のひか 神戸市東灘のJR甲南山手駅六時二九分、

程並外れた大事業と実感致しました。 ましたが、この目で天竜川流域を見る事で成る 制御してきたことの大変さを書物では知ってい た走る。昔の人達は人力で自然の猛威と戦い又 ドを聞きながら天竜川の堤防道路を上流へとひ 九時三〇分浜松駅を出発となりました。 原明善と事業」の歴史を明治維新前後のエピソー 転は大石さん、車中月花さんの名ガイドで「金 案内には天竜林業組合の月花さん、バスの運

石さんの運転は慎重派だなと内心思っていたの がら山間部に入って行きました。それまでは大 表)にまつわる林業の栄枯盛衰を、お聞きしな 山をされた、「金原明善翁とその事業」(別紙年 の大河を治めるのに、私財を投げ出して治水治 昔多くの人々を苦しめ暴れ天竜で知られたこ 離れて一人住まい中)

れるのには、山で生きる人の技と心の優しさ ぽいように見えながらも細やかな神経で運転さ ブでした。しかし寝不足か?月花さんの名調子 (お顔も優しいです)がうれしく楽しいドライ しこんなところをすごいスピードで走り、荒っ ですが、急峻な狭い林道を我物顔で走る。しか した景色と解説が惜しい。 に甘え、ついうたた寝をしてしまいました。逃

めてのことで圧倒されました。一〇〇年前の植 花さんのお話を聞きますとなお一層感じました。 ご苦労とこの山を維持することの難しさを、月 手入れが大切であることがわかります。到着し 社の境内の社で見られる大木は、時折見ますが、 ませんが素晴らしいの一語です。今までにも神 な杉の林立する森で、景色は紙上では説明でき に降り立った場所は、樹齢一〇〇年以上の立派 人工林のこの様な立派な森の姿に接したのは初 た森林の素晴らしさは目をみはるもので先人の 二時間余りの行程景色は、素人の私にも山の 明善神社のある佐久間町梅平で昼食を摂る為

のなんと贅沢な仕様でしょう。 着く建物でした。柱・梁・壁・床と全てが杉材 材で造られ、香りと木の精が感じられる心落ち 打たれました。又休憩場所の建築物は、地の杉 がで造られ、香りと木の精が感じられる心落ち がで造られ、香りと木の精が感じられる心落ち がで造られ、香りと木の精が感じられる心だ・自然

当にありがとうございました。 頂き、あの御みそ汁の味は忘れられません。本 御食事も地元の方のご配慮で本当においしく

見直し等色々の意見が交わされました。 良事の後、皆様が感想なり質問等をされました。 大根一本より安いのが現状です。と本当につい話です。今後は国産材のメリットと生態系が大根一本より安いのが現状です。と本当についだける木材の環境貢献等を大いにPRし、又に於ける木材の環境貢献等を大いにアRし、又に於ける木材の環境貢献等を大いにPRし、又に於ける木材の環境貢献等を大いにアストと生態系が低い事が、皆様が感想なり質問等をされました。

日本の人工林の荒廃が叫ばれて久しいが経済 日本の人工林の荒廃が叫ばれて久しいが経済 日本の人工林の荒廃が叫ばれて久しいが経済 は、最近のですが、人工林を間伐し経済性を で山一面に植林し、動物や自生植物の生息に最 悪に近い環境を造りすぎた反動が来ているよう にも思えるのですが、人工林を間伐し経済性を た材以外の水や空気にもおき、動物、植物、人 はで出来ないのでしょうか。経済林を間伐や伐 とが出来ないのでしょうか。経済林を間伐や役 とが出来ないのでしょうか。経済林を間伐や後 とが出来ないのでしょうか。経済林を間伐や後 とが出来ないのでしょうか。経済林を間伐や後 とが出来ないのでしょうか。経済林を間伐や後 とが出来ないのでしょうか。経済林を間伐や後 とが出来ないのでしょうか。経済林を間伐や後 とが出来ないのでしょうか。経済林を間伐や後 とが出来ないのでしょうか。経済林を間伐や後 とが出来ないのでしょうか。経済林を間伐や伐

森林が望まれます。
本本のほとんどが同じような状態でしょう。現在な天竜林業でさえ成り立たないのであれば、日性を認識することができるはずです。この立派性を認識することができるはずです。この立派でも多くし、経済性と環境のバランスのとれたでも多くし、経済性と環境のバランスのとれたでも多くし、経済性と環境のバランスのとれたでも多くし、経済性と環境のバランスのとれたでも多くし、経済性と環境のバランスのとれたでも多くし、経済性と環境のバランスのとれたでも多くし、経済性と環境のバランスのとれたでも多くし、経済性と環境のバランスのとれたでも多くし、経済性と環境のバランスのとれたでも多くし、経済性としての一般市民の関心度は低いと

現在の日本の住宅産業は一二〇万戸前後の建現在の日本の住宅産業は一二〇万戸前後の建設が続いていますが、世帯数からも絶対戸数は設が続いていますが、世帯数からも絶対戸数は設が続いていますが、世帯数からも絶対戸数は投資としてのグリーン売買が世界の流れのようであり、環境に適した樹種の植林や自然林の治疗をすべきだと思います。需要と供給のがランスが市場経済の原理ですから、今後は環境経済としてのグリーン売買が世界の流れのようであり、環境に適した樹種の植林や自然林の推持をすべきだと思います。行政の補助もグリーと開入や美林と言える里山造り自然林の維持に力をいれる事で後世に財産として残すようにして頂きたいものです。

くの皆さんに森林に関心を持ってもらうことをとが本当に大切だなと思いました。一人でも多森林見学することで少しは森林を知ることが出来ました。天竜林業の皆様にに触れることが出来ました。天竜林業の皆様にに触れることが出来ました。天竜林業の皆様になっています。私はJUONN(樹恩)ように思っています。私はJUONN(樹恩)まだ多くの人々は水や空気はただ同然であるまだ多くの人々は水や空気はただ同然である

ろしくお願いいたします。がらはっきり分かりました。今後ともどうぞよ痛切に感じました。又私の無知も、恥ずかしな

います。 ランティア組織や自治体と共に協同し推進して ンティア活動」等の内容を掲げて、「公助」・ 文化の発掘と普及」、「森林の保全・育成・ボラ 廃校を活用したセミナーハウスの運営」、「地方 ばしネットワークの輪を広げたい、そうした想 いの深い連帯感を大切にし、その心を未来に延 はどれほど勇気づけられたことでしょう。お互 ランティアの誠意と力、この大きな力に被災者 わった地元の人々や全国各地の学生や多くのボ 淡路大震災を体験し、学生の仮設寮の建設に関 す。きっかけは、一九九五年一月一七日の阪神 町に於いての創立総会を経て一年半余になりま 四月二七日に徳島県の吉野川上流域にある池田 います。設立趣意書にあるように、一九九八年 WORKについて少し紹介させて頂きたいと思 ぶ自然と文化のネットワークづくり」「過疎の いの人達が手を携えて、「都市と農山漁村を結 「自助」を結び「協助」の分野を他の多くのボ 私の所属しているJUONN(樹恩)NET

指導をよろしくお願い致します。皆様方の御のですが会員の心は燃えています。皆様方の御思います。ただ創立後一年半と活動経験も浅いは小さくても、協同の力は大きなものになるとは小さくても、協同の力は大きなものになると一六会員となっています。一人一人の想いや力一方会員となっています。一人一人の想いや力

小学生なみの私の質問にていねいに答えて下さ 「林学は専門じゃない」とおっしゃりながら、 のに気づいた。バスの隣の席は大内力会長。 ず知らずのうちに北海道の森と見くらべている けわしい山にわけ入るにつれ、自分の目が知ら 上京のついでに天竜林業視察の機会を得た。 なんともぜいたくな旅となった。

た。戦後初めて訪れたとき、山やまの緑に驚い 戦前とりわけ南朝鮮の山はみごとなハゲ山だっ たなくなるかもしれません。 です。そのうち、山も肥料を撒かないと木が育 と大内解説。ふと韓国で聞いた話を思い出す。 山は杉また杉の連続。下草がほとんどない。 -間伐していませんからね。日が射さないの

> 明者をだすという尾ひれがつく。 ていると方向を見失って年々たくさんの行方不 ものが住んでいて、ついつい歩きやすさに呆け いからだという。一見きれい好みのその森に魔 ョーロッパの森も、下草がない。地味が乏し

れるとか。

ましたと、お杉サンに最敬禮。 シモを脱いで見せてくれている。標高七百メー だ。これが杉ですと、杉自身が誇らしげにカミ は北海道の森を見なれた目には、オトギの世界 りではない。荒ぶるたくましさがなければ生き さに天然のヌードと嘆じ、この木メスですかな のなかにえもいえないたおやかさ。これこそま のなんという木はだのうるおい。あふれる気品 トルに近いところにあった金原財団の一本の杉 てゆけないからだと、真剣に思っている。杉林 の島のそれは荒々しい。針葉樹が多いせいばか んて質問してしまって、思わず失禮をばいたし 内地(とあえて書く)の森にくらべると、北

> 小 林 金 =



て、だから山にいるものは北の工作員とみなさ て育つようになる。これには尾ひれがついてい るとともに入山を禁止した。木は落葉を糧とし たなくなった。そこで燃料用のマメ炭を奨励す 説明。困った農民は落葉を拾い集めた。木が育 た。山の木を切ることを禁じたからですという

だ。総じて男性的である。い。労働するもののはだだ。風雪に耐えたはだい。労働するもののはだだ。風雪に耐えたはだまの種類にもよるが北海道の樹木のはだは荒

畑でいえば単作ですね。

ておもしろいですね。からいっそう深刻になる。雑木林には変化があっー――そこに問題があります。間伐していない

 \Diamond

には奇異に写った。防寒施設の見受けられなかっのは、北海道の目なのは当然だが、雪も降るという建物に一切のなのは当然だが、雪も降るという建物に一切の中食は金原財団の研修所。みごとな杉づくり

る。このことを書いておかないと、公平を欠く。の大人がはいっていけないほど混みに混んでいう松林は、間伐もせず放置されたまま。ひとりの住む手稲の山麓にひろがる大手商社所有のカル海道にも〝単作〞がある。カラ松林だ。私

* 国民森林会議の主な動き ▲

- 〉 一〇月一日 「国民と森林」第七〇号発刊
- 州森林管理局管内) 関東森林管理局、東京分局、名古屋分局、近畿中国森林管理局、四国森林管理局、九》 一〇月二五日~一一月一六日の間に国有林現地調査を実施(旭川分局、青森分局、
- 一五名)一五名)一一月六日 天竜森林計画区内視察・金原治山治水財団所有林他(大内会長はじめ
- 策、講師・西泉彰雄国土庁地方振興局地方都市整備課長補佐) ──一月 一日 第四回公開講座(テーマ・新過疎法の概要とこれからの中山間地対
- ◇ 一二月一一日 第八八回幹事会

▼ 第一八回国民森林会議総会と評議委員会のお知らせ ▲

- ◇ 評議員会
- ところ 東京大学内・学士会分館と き 二〇〇〇年二月一二日(土)
- き 一人可念を
- ◇ 第一八回総会

ところ 東京大学内・学士会分館 一三時(

切り抜き森林・林政ジャーナル

人新聞・この三カ月〉

を保全 アピー木造住宅で山 下草

東京育ちの木を使った家が完成し東京育ちの木を使った家が完成した。家を支える力強い骨組み、天井、壁、床からキッチンやカウン井、壁、床からキッチンやカウンサ、壁、床からキッチンやカウン・できている。

「上流の木を使うことで山にお金が落ち、山林の保全につながれ 会を説得して願いがかなった。マイ 健を説得して願いがかなった。マイ 健な一点に強べ、京大の二階建で、住宅メーカーで 定トルの二階建で、住宅メーカーで 定りがけた。

下草刈りや間伐作業のボランティを加していた市民と林業関係を喜夫さんもその一人。山仕事をがあるのを知り、「東京の木を使った、山を守っていきたい」とかかってきた。

同会が手がけた住宅は三〇棟。 会員は林業、製材、設計など八〇 人近い。消費者には、自然回帰、 健康志向が高まり、このニーズを 林業に反映させるのが狙い。会は 定期的な勉強会を開くほか、施主 が木の産地を見学し、下草刈りや 植林も体験できる。角田さんも活 動に参加、「地域の木材で家を造 ろう」という気持ちになったとい う。

? と知って [毎日]8月5日―山村の価値もっ

やはり過疎と高齢化にあえぐ現実ながら、目の当たりにしたのは、た農山村のぬくもりを一方で感じた農山村のぬくもりを一方で感じ

同会は四年前、

奥多摩の山林で

の魅力を知ってもらおうと始めたる の魅力を知ってもらおうと始めたる 四半世紀にして岐路に立動」も、四半世紀にして岐路に立 動」も、四半世紀にして岐路に立てきた伝統の枝や文化。山村の価で都市住民も共に認め合う姿勢値を都市住民も共に認め合う姿勢がない限り、過疎に歯止めはかけられない。

越後連山の山懐に抱かれた奥会 越後連山の山懐に抱かれた奥会 が行われた。四〇〇年の伝統行事 が行われた。四〇〇年の伝統行事 が行われた。四〇〇年の伝統行事 が行われた。四〇〇年の伝統行事 が行われた。四〇〇年の伝統行事 が行われた。四〇〇年の伝統行事 が行われた。四〇〇年の伝統行事 が行われた。四〇〇年の伝統行事

「核家族世帯六〇%」と発表した運動」の発祥地。運動は総理府が家に宿泊、交流する」「ふるさとを特別町民として募り、地元の民を特別町民として募り、地元の民を特別町民として募り、地元の民

■あつこかつ見、前丁wo b は 様に できなった首都圏の家族六〇三世 遠くなった首都圏の家族六〇三世 恵くなった首都圏の家族六〇三世 前年の一九七四年、ふるさとと縁

~11月

運動の生みの親、前町長の佐藤 良雄さんによると、農林業が基幹 良雄さんによると、農林業が基幹 民雄さんによると、農林業が基幹 現金収入を得るために出稼ぎが増 えた。一家の大黒柱が不在の家庭 が多くなり、町は企業を誘致した が、それも経営に行き詰まると撤 退していった。

佐藤さんは「住民がその地域の佐藤さんは「住民がその地域のと運動を始めた動機を説明する。と運動を始めた動機を説明する。企業誘致や大手資本に頼る開発だ」

運動の経済効果は二億円を超えた。だが、人口減少に歯止めはかからず、五〇年に七七〇〇人いたからず、五〇年に七七〇〇人いたからず、五〇年に七七〇〇人いたがらず、五〇年に七七〇〇人いたがらず、五〇年に七七〇〇人と約三分の町民は現在二六〇〇人と約三分の町民は現在二六〇〇人と約三分ので特別町民も一五八世帯と当初の約四分の一になった。佐藤さんは、「運動は間違っていなかったと思う。が、若者が残る町にはならなかった」と、天井を仰いだ。はらなかった」と、天井を仰いだ。

と、過疎地域を抱える東北の自治

そこには自然を克服しようとする じて農村文化が生まれ、伝統が受 け継がれてきたことを実感した。 営みに感謝し、共生する姿勢を通 に触れたような気がした。自然の お年寄りの言葉を耳にした。祈り 中で生かしてもらっている」との にも似た、自然への感謝の気持ち は山村の魅力だ。各地で「自然の ている。それ以上に注目したいの の農産物生産額のうち四三%を、 積は五二%と初めて五割を超えた。 体は全市町村の四一%を占め、面 過疎地域が占める中山間地が担っ 一方で、首都圏の食料基地・東北

まった。 の都知事選でそのトーンは一層高 の地方配分を批判してきた。四月 トで固めてどうする」などと予算 タヌキが通るような道をコンクリー 会の中で、 の予算獲得や道路財源を求める集 昨秋以降、財政難に苦しむ東京都 で根強い「地方たたき」の風潮だ。 市住民の心を引きつけるのだろう。 ただ、気掛かりなのは、首都圏 国会議員らが「田舎の、

てきた過疎法は来年三月で期限切 れとなる。 七〇年にスタートし、更新を重ね 過疎地の振興をうたい文句に 補助金の補助率上乗せ

されているが、「都市住民の地方 にない。 来通りの優遇措置は期待できそう 自民党内で新法制定について検討 措置などを盛り込んだ過疎法は、 (国土庁過疎対策室)として、従 に対する目が厳しくなっている」

ない。 る。感情論に引きずられる形で新 過疎法が決められるのは納得でき 保養に訪れる都会人も利用してい 手当が必要なのだ。道路や病院は 方に厳しい目を向ける主張の背後 生産性の低い山間地だからこそ、 めぐる議論がなされたか疑問だ。 で、どれだけ山村の意義や価値を 過疎法の見直しは必要だが、 地

を喪失することにもなるのだ。 失うことを意味し、「ふるさと」 都市住民の精神的な安らぎの場を てきた山村が、このまま衰退して いいはずはない。農山村の衰退は、 [朝日]9月21日-林野特別会計 地元住民が自然を慈しんで守っ

の山村の雰囲気が自然を守り、都

八間の傲慢な姿は見られない。こ

債務のうち、二兆八千億円を一般 が施行され、三兆八千億円の累積 少ない一千八億円となった。昨年 野事業の九八年度決算によると、 損失は前年度より三百八十六億円 やや改善 一月に国有林野事業改革関連二法 林野庁が二十日発表した国有林

> い利子が大幅に減り、収支はやや 会計に移したことなどから、支払

億円から五百六十五億円に減った。 [毎日]9月22日-保護林を結び 損益計算書によると、支出面で 支払い利子は前期の千百十四

初会合を開き、年内には設定基準 関する検討委員会」が二十二日に 野庁の「国有林の緑の回廊設定に の生態系を広範囲に守る「緑の回 結んでネットワーク化し、 や保護の対象とする動植物などの 向けて動き出すことになった。林 廊(コリドー)」構想が、実現に 国有林の保護林を自然樹林帯で

る ており、すでに概算要求で二億六 の実施を目指して、具体的な緑の だ。地元の森林管理局が来年度中 基本的な考え方をまとめる見通し 千五百万円の事業費を要求してい 回廊の場所を検討することになっ

れば先駆的な事業になる。 が計画されている程度で、 ブラジルの「アマゾンコリドー」 されている。しかし、世界的にも あり、新しい保護方法として注目 広がって近親交配が薄まる効果も 緑の回廊は、動物の移動範囲が 七種類に区分された国有林の保 実現す

千ヘクタールに及ぶが、これまで 護林は、全国八〇八ヵ所五十万八 は面だけの指定で、移動する動物

保護林との間の樹林帯などを整備・ 森林生態系保護地域を中心に他の た。緑の回廊はそれを補うため、 などの保護には不十分な点もあっ

生態系を守れ 動植物 験者や自然保護団体、地方公共団 かんでいる。具体的には、学識経 された国内希少野生動植物(全 るようにする。 体の担当者らで構成される検討委 る動植物も検討対象にする案が浮 五四種)を参考にし、それに準じ の「レッドデータブック」に掲載 保護し、動物が広範囲に移動でき 保護対象となる動植物は環境庁

国有林の八割を公益林に拡大する 画」で、木材生産機能を縮小し、 環境庁も参加する。 員会で協議。オブザーバーとして 有林野の管理経営に関する基本計 林野庁は昨年末に策定した「国

治体購入 ことを既に打ち出している。 [毎日]10月7日-広葉樹林を自

た金額は八二〇〇万円で、 三月、ブナ林が残る西岳(一〇一八 北端。岩手県一戸町は一九九五年 メートル)の山頂付近の国有林 三一へクタールを購入した。投じ 東北地方にそびえる北上山地の

町の面積の七割(二万一千へクター ルは、町内唯一の自然林だった。 ており、町が購入した三一へクター 林でカラマツなどの人工林に変わっ 山林のほとんどは戦後の伐採と植 ル)は山林で占められているが、 広葉樹林に覆われていた。今でも かつて西岳はブナを中心とした 般会計予算の九%を占める。

樹木がたくましかった。 のほうが生息する動植物が豊かで、 の違いに驚いた。明らかに自然林 をはさんで広がる人工林と自然林 稲葉町長は現地を視察し、林道

た。町の担当者は「本来、国が保 「それなら町で買って下さい」だっ た。ところが、営林署の返事は 地元の営林署に伐採中止を要請し 害が起きていたこともあり、町は ら、大雨が降るとたびたび土砂災 感じたという。 しなければならないのだろう」と 全すべき森を、なぜ自治体が購入 伐採で自然林の面積が減ってか

だが、後世に自然を残すのは私た ちの責務だ。町民も同じ気持ちだっ た」と振り返る。 でも前例のない取り組みだった。 かった。稲葉町長は「購入は全国 しかし、町民や議会の反対はな

まま保全され、二・三キロの散策 買い取った自然林は手つかずの

> 年かかる。国がやらないならば、 自分たちで実行するしかない」と 然林を植樹して元に戻すには三〇〇 キー場周辺でブナの植樹を進めて 然林を伐採したことを反省し、ス ではスキー場を開発したときに自 して利用されている。このほか町 路が整備され、自然観察会の場と いる。同町長は「一度伐採した自

のバリアフリー [上毛]10月8日-来春から森林

今月中旬に着工し、来年春からの 歩道を整備することを明らかにし 利用を予定している。「森林のバ に自然を満喫してもらうのが目的。 り入れできなかった車いす利用者 す用遊歩道を新設し、これまで乗 森内に約三百メートル周遊の車い 町藤原の「奥利根水源の森」に車 た。ブナの自然林で有名な水源の いすで散策や森林浴が楽しめる遊 日、同庁が整備管理している水上 林野庁利根沼田森林管理署は七

待は大きい」と歓迎している。 た人にとって活動範囲が広がって は聞いたことがない。障害をもっ 森の中へ車いすで入れるというの リアフリー」が実現することにつ 社会参加がより進む。関係者の期 いて、県障害政策課は「山がちな 車いす用遊歩道が設置されるの

ける。 装は土色にする。ブナ林を切らず 中にチップ材を入れた舗装を施す ら約三百メートルに及ぶ周遊の遊 トル。車いす同士がすれ違える幅 のが特徴。自然景観に配慮して舗 歩道を整備する。アスファルトの 障害者の駐車場を新設し、そこか の一角。既存の駐車場の奥に身体 ロほど入った「ブナの森のみち」 は、県道水上片品線から南へ二キ に設置するため、幅は約一・五メー メートルの待避所を五ヵ所に設

う配は二%程度に設定され、介助 二メートル前後に抑えている。こ メートルだが、遊歩道の高低差は 平坦な場所を選定。標高は一、五二 うに配慮する。 者がなくても一人で散策できるよ 自力で歩行ができるよう、最も

場所を広げよう 禮東大大学院教授) れた。テーマは「木の力を考える」。 の森づくり」シンポジウムが開か 豊かな盛岡市の岩手県民会館で 型社会へ」。宮沢賢治ゆかりの緑 会から、地球に優しい「環境循環 木の日」の十月八日、「国民参加 省エネへ木材生かそう(有馬孝 大量に生産、消費、廃棄する社

[朝日]10月17日-森と触れ合う 若返らない。 樹木が多い。需要がないから伐採 物を資源としてとらえ、それが再 の炭素が全国で貯蔵されている計 生産され、循環される仕組みだ。 アルミサッシの三十分の一以下だ。 ただし、樹齢三、四十年あたりの 算になる。 姿を変えて貯蔵されているものと 林や木材はできる。木はC○2が と地中の水、太陽エネルギーで森 はいわば「都市の森林」といえる。 ネルギー代替」の三つの機能を持 木(材)あるいは森林はそこで、 もされず、新たに植林できないし、 いる。人工林が増えているからだ。 蔵」効果で、毎年五千四百万トン いえる。わが国の森林は「炭素貯 つ。この視点に立てば、木造住宅 「炭素貯蔵」「省エネルギー」 「エ しかも貯蔵量は毎年二%増えて 大気中の二酸化炭素(CO²) 木材の窓枠の生産エネルギーは、

効果のひとつだ。 木材利用による「省エネルギー」

たらす。 利用すれば、化石燃料の消費は減 り、「エネルギー代替効果」をも し、その時のエネルギーを有効に 廃材となった木材を有効に焼却

史朝日新聞編集委員 森林保全には政策必要 (山田厚

いま注目の循環型社会とは、生

自分たち一人ひとりの財布に響い なマイナスが発生している。結局 れず、山が荒れ、目に見ない大き コスト重視の経済で国産材は売

停止している。 害者でもあり被害者でもあるから、 合と違い、環境問題で我々は、加 文化でやってきた。が、公害の場 大量生産、大量消費、大量破棄の 考えてもしょうがない」と思考 日本は戦後、アメリカに模した

子江がはんらんした。 枯れ、南部は少し雨が降ったら揚 していた。北部は干ばつで黄河が 木の根まで使って、薪炭の材料に 先日取材した中国では、切った

く引き出し、自分たちの暮らしや もに、巨大なエネルギーの貯蔵庫 会の暮らしはうまく回ると思う。 エネルギーに役立てていけば、社 元本にさわらず利息分だけをうま れる必要があるが、貯金と同じで、 にもなっている。森林には手を入 あって、水を蓄えて浄化するとと ただ、人々の自覚や意識だけに 日本には、恵まれた森林資源が

住宅に補助金 [信濃毎日]10月28日-在来工法

した木造住宅の普及も目指す。 町内で在来工法による木造住宅の 進出などで、厳しい状況が続く地 件数の伸び悩みや大手メーカーの 補助する制度を設けた。住宅着T 万円を上限に借入金の最高二%を 元業者の振興と、地元産材を生か 新築や増改築を行う場合に、四十 県住宅建築管理課によると、県 木曽郡木曽福島町は十月から、

う。 「県内ではおそらく初めて」とい あるが、木造住宅の普及のため市 築などに、低利な融資をする「マ 町村が単独で行う補助金制度は イホームづくり資金融資」事業が には木造住宅の新築、購入、増改

も森林保全に使えば、世の中が変 に使われる兆単位の予算の一部で るような政策が必要だ。公共事業 頼ってはだめで、人々に動機づけ こと。また、工事の請負は郡内業 者が条件で、町内の下請け業者が 除く。六月に町内の住宅関連業者 枠組壁工法、プレハブ工法などは 五百万円以上の融資を受けている で、工事のため金融機関などから、 に住所があるか、建築後の住む人 横架材などに木材を使うものとし は、主要部分となる土台、柱、壁、 六社以下の場合は一%を補助する。 七社以上入る場合に融資額の二%、 補助金交付の主な条件は、町内 在来工法による木造住宅の定義

造住宅も建設する予定だ。 造成した四区画に、モデル的な木 行う。同推進協は、 が、補助申請された建物の審査を

る。 単価も安く抑えられる」としてい 材料を共同購入する形になれば、 需要が増え、将来的に地元業者が ては、とPRしたい。木造住宅の キッチンに少しぜいたくをしてみ 町産業観光課は「補助金で柱や

[毎日]11月11日-反森林破壊で

る日本政府に自由化反対を要請し 新たな動きも出ている。 国NGOに支持を働きかけるなど、 自由化に反対している林野庁が各 た。林業の衰退を加速するとして 初めには、木材の最大輸入国であ が活発な運動を始めている。今月 国内外の環境NGO(非政府組織) が世界の森林破壊を招くとして、 で検討される林産物の貿易自由化 世界貿易機関(WTO)閣僚会議 三〇日から米シアトルで始まる

必要だ」と訴える。

いる。この結果、木材輸入量は世 五年以降は二〇%前後を推移して の引き下げで自給率は急落し、九 が、為替相場の変動と相次ぐ関税 八七%を国産材でまかなっていた 日本では一九六〇年には木材の

が設立した町木造住宅推進協議会 町開発公社が 二三%を占める。 界で最も多く、世界の貿易量

らに平均九%失われるという。 を引き下げるよう求めている。し どの製材を輸入すると四・八%の 生産物の貿易を規制する仕組みが 環境を破壊する方法で伐採された 退させ、自然災害の多発を招く。 するだけでなく、国内の林業を衰 〇は「自由化は海外の森林を破壊 間智子事務局長)などの環境NG 自由化で、オーストラリアなど八 商代表部の試算では林産物の貿易 積の約半分に相当する一 一〇〇万 かし、世界では毎年日本の森林面 ヵ国の森林は二○一○年までにさ 関税がかかるが、米国などはこれ 市民フォーラム2001」(佐久 へクタールの森林が失われ、米通 日本では現在、トウヒ、 マツな

を重ねている。 め、国以内外のNGOと話し合い た。NGOの支援が必要だ」とし 吸収する森林の重要性が認識され 暖化防止京都会議で二酸化炭素を て、日本政府への支持を広げるた 林野庁は「一九九七年の地球温

の

アトランダム雑誌切抜

地球環境学部教授 ◆環境問答/渡辺定元(立正大学

体の緑をいかに維持し、温暖化抑 生物の生存をおびやかすようになっ ど、人間の消費活動による変動が NOX・SOX・ダイオキシンな は植物であったが、温暖化ガス・ 地球生態系の改変にかかわってき していくかが課題だ。 止に向けて緑の総量をいかに増や てきた。地球環境問題は、地球全 た。これまでの生態系変動の主役 生息する生命体は、何等かの形で 地球の歴史のなかで、地球上に

然に開いてくれる。 えて始めて存在する概念である。 成している多くの生物を主体に据 森を接すると、森は秘密の扉を自 えているのかをしっかり見定めて 何を主体に何を基準に環境をとら 森の環境は、樹木を始め森林を構 念である。生物を取り巻く環境は 人工物を含む自然全体を意味する。

どのような環境観をとるかは、

環境は主体があって存在する概

多く、生物層すべての分野を評価 だ。生物を主体とした環境影響評 生物観・自然観とはなれては存在 これからの課題となる。(『フォー よって生じた公害に相当するもの 規定する環境要素は、人間活動に 野は代替案をいかに検討するかが できる体制にない。自然環境の分 価は代替案の検討など応用課題が し得ない。環境アセスメント法に レストコンサル』 10.79・林業部門

案試案 述を要約。 合調査研究所顧問)対談形式の記 ◆森林・林業・木材産業の基本政 ―検討会報告のレビューと法 / 手東平三郎 (林政総

討会が設けられ、審議の結果が公 立的な産業として成り立たない状 表された。ここでは、「林業が自 森林・林業・木材産業基本政策検 行段階になっているが、林業でも 農業・農村基本法に改訂され、施 農業関係では農業基本法が食料・ の流域管理システムの見直しや、 木材産業を展望するが、外材時代

業を主体としてものから、森林の う政策的に誘導できるかがポイン 多様な機能を持続的に発展させる 況にあること」として、「木材産 トだろう。 きる国有林とは違い、民有林はど の経営意図がストレートに反映で たものにする」方向を示した。 ための森林の管理・経営を重視し

ど税制面の改善は不可欠。②伐り 率的な経営者を担い手にし、それ が困難な所有者には受委託による 策がみえない。③林業と連携した 公的資金による分収育林など具体 林組合や第三セクターの育成策も しかった。受委託の主体となる森 る再造林など踏み込んだ提言が欲 放し対策などでは、公的資金によ 林施業を相続税とリンクさせるな また生物の多様性など考慮した森 絞られていて実効が懸念される。 経営を考えているが、委託対象が ①担い手問題では、安定的・効

> れる環境作りがほしい。 盛り込みたい。分権化時代にふさ ないという視点での具体的政策も のある定住者が山村振興に欠かせ ④山村問題では、森林育成に熱意 燥施設の助成など具体策が欲しい。 課題の列挙だけでなく国産材の乾 わしい林業の実勢が首長に重視さ

11月~1月

業技術』11月号・日本林業技術協 業法の制定など必要だろう。(『林 ない木材産業を位置付ける木材産 もなって森林法の改正、他産業に を中核とする山村振興。それにと するための税制改善、⑤定住林家 援、④長期自立的持続経営を遂行 充と定着性確保のため国の制度支 な公的資金の出動、③労働力の補 に自給率の目標を加え、②積極的 内容には①森林・林業の基本計画 山村振興の意義をうたいあげたい。 義を、林業持続的経営の必要性と 森林は国土環境としての整備の意 森林・林業分野は宣言法として、 要望を聞いているが、木材産業は 木材産業振興法として別建てとし、 林野庁は各地で説明会を開いて

化/高梨雅明(建設省都市緑地対 ◆地球温暖化対策としての都市緑

国連環境計画(UNEP)は、

一九九六年のCO2の排出が五○ ③ 一九九六年のCO2の排出が五○ 3 年の四倍、二三九億トンに達した 動年の四倍、二三九億トンに達した 動年の四倍、二三九億トンに達した 動年の四倍、二三九億トンに達した 動年の四倍、二三九億トンに達した 動中の四倍、二三九億トンに達した 動中の四倍、二三九億トンに達した 動中の四倍、二三九億トンに達した 動中の四倍、二三九億トンに達した 動中の四倍、二三九億トンに達した 動手の四倍、二三九億トンに達した 動手の四倍、二三九億トンに達した 動手の四倍、二三九億トンに達した。

一昨年の温暖化防止京都会議で一時年の温暖化防止京都会議で一時年の温暖化防止京都会議での保全と緑化の推進により都市のとートアイランド現象の緩和の取とートアイランド現象の緩和の取とートアイランド現象の緩和として森林を位置付け、都市でも①二酸化炭素吸収源として森林を位置付け、都市でも①二酸化炭素の吸収源として森林を位置付け、都市でも①二酸化炭素吸収源として森林を位置付け、都市でもの推進により都市の限全と緑化の推進により都市の取り組み、②二酸化防止京都会議での議定書の実施に向けた政府のの議定書の実施に向けた政府のの議定書の実施に向けた政府のの議定書の実施に向けた政府の表

エイジ』11月号・日本緑化センター)発信拠点として強化。(『グリーン・組みによって関心を高めるが、組みによって関心を高めるが、動」を実践するキャンペーンや取

「地球規模で考え、地域から行

研究部長)
→食教育からの日本農業再建/蔦

金融』11月号・農林金融公庫)を融」11月号・農林金融公庫)の取り組むことが必要だ。(『農林を促進するには、給食による日本業の存在意義について国民に理解業の存在意義について国民に理解業の存在意義について国民に理解を促進するには、給食による日本との経験蓄積が不可欠だ。の取り組むことが必要だ。(『農林金融』11月号・農林金融公庫)

ない。いまとしているが、◆森と人間のつながりを検証するない。いまとしているから山や森が守られてといいく英されているが、その術が伝えられてきたのだ。しかし、のメジャーともない、その術が伝えられてきたのだ。しかし、のメジャーともない、その術が忘れられようのメジャーともない、その術が忘れられようで、近年は山村の人口減少・高齢化に、近年は山村の人口減少・高齢化に、近年は山村の人口減少・高齢化に、でいるが、その術が伝えられてきたのだ。しかし、のメジャーともない、その術が忘れられようで、大きない。いまとしている。森と人間のつながりを検証するなと国民のである。

にの)藤里町は高齢化率は40%近く 一野添(白神山地の世界遺産登録な 後の利用をめぐって)秋田県側が があるから規制は駄目だといった。 があるから規制は駄目だといった。 があるから規制は駄目だといった。 があるから規制は駄目だといった。 があるから規制は駄目だといった。 して決めるべきだと主張したが、 して決めるべきだと主張したが、 して決めるべきだと主張したが、 して決めるべきだと主張したが、 かあるから関制をする、しないう対談から。

だから。

大田県でも三番目。山村の特殊性
を考えていかなくては、保護主義
ではにいい。上流の森林が健全だ
くては……。上流の森林が健全だ
と一場得をするのは下流の人たち

学江 白神の場合は完全に守る ところとそうでないところを分け ているのは見識だが、基本的には 外部の人に入って来てもらうこと は大切なことでしょう。来てもらっ に 経済効果もあるけど、都会の人に 経済効果もあるけど、都会の人に に 経済効果もあるけど、都会の人に 11月号から連載・全国林業改良普 り及協会)

を エイル が ブラウン、ブライアン・ホールウ 球 水資源供給を超える/レスター・

では地下水位は一年に一・五メーでは地下水位は一年に一・五メースに達しようとしているが、これらも水位は下がっているが、これらいる。中国・インド・アメリカでいる。中国・インド・アメリカでいる。中国・インド・アメリカでいる。中国・インド・アメリカでは地下がっているが、地下の国で世界の人口は10月12日に六〇億世界の人口は10月12日に六〇億世界の人口は10月12日に六〇億世界の人口は10月12日に六〇億世界の人口は10月12日に六〇億

たって農地は減少している。 キサス・コロラドなど二〇年にわ 汲み上げは滞水層への補充の二倍 トル低下し、インドでは地下水の 漑農地の後退が余儀なくされ、 に達する。アメリカでは南部で灌 テ

沿岸三か国の水争いが激化する様 は消滅した。ナイル川では、源流・ することはなくなり、河口の漁場 川の水もカリフォルニア湾まで達 縮で魚介類は死滅した。コロラド の水域の半分に縮小し、塩分の濃 た。ガンジス川は乾季には河口の 日も黄河の流れは海に達しなかっ 断流が見られ、九七年には二二六 水は無くなり、アラル海はかつて 中国の黄河では一九七二年以来

を生産するには一〇〇〇トンの水 測される(ワールド・ウオッチ上 二五年には三○億人に達すると予 年の四億六七〇〇万人から、二〇 が必要だが、世界の水不足は一億 トンと推定される。一トンの穀物 の量を超える揚水量は一六〇〇億 降水量によって補充される地下水 級研究員サンドラ・ポステル女史)。 年間穀物輸出量二億トンに近い。 六○○○万トンの穀物に匹敵し、 水不足に直面する人口は、七五 水が希少になると、都市と農村

ろう。国連は二〇五〇年の人口を 現在のような人口増加が続けば、 世界全体の水不足が、食糧不足に 12月号·国際食糧農業協会) ない。(薄井寛訳『世界の農林水産』 を維持する水にも事欠くかも知れ 新たに増える人口は人並みの生活 民側の敗北に終わる。穀物の輸入 足は大幅に緩和されよう。しかし、 低位予測の七○億人なら水資源不 九○億人と中位で予測しているが、 置き換えられるのは時間の問題だ によって水不足を補う諸国もある。

利用研究会) 用/小島健一郎(木質バイオマス ◆木質バイオマスのエネルギー利

増えている。民生用の暖房などの の省エネルギーは進んでいるが、 高まっている。わが国でも、企業 オマスのエネルギー利用に関心が 省エネルギーの余地はある。 一人当たりのエネルギー消費量は アメリカでは大統領令で、バイ 地球温暖化防止のために、バイ

ちバイオマスはエネルギー需要の することが白書でうたわれた。う るとしている。EUでは、再生エ 利用を二〇一〇年までに三倍にす オエネルギーとバイオ起源製品の 一〇年までに六%から一二%に ギーの利用量を九五年から二

の水争いが起こるが、ほとんど農

測している。 三・三%から八・五%になると予

材廃材・一部林地廃材が利用され、 や発電用には、都市系廃棄物・製 経済的には大中規模の地域熱供給 林・ペレットなど考えられるが、 材・間伐材・早生樹種による熱源 ・パルプ黒液・製材廃材・林地残 材・剪定枝条(都市系木質廃棄物 日本のバイオマスには、

熱の需要がある②自家消費ができ 力を高めた。バイオ熱の導入は① して今日の環境税の制定まで発言 ルショックがきっかけだった。 ネルギーが導入されたのは、オイ まろう。スウェーデンでバイオエ 分野だ。しかし、石油の価格は今 熱が伸びているのは地域熱供給の ウェーデンなどでもっともバイオ 発電で競争することは難しい。 くだろうから、価格的にはバイオ の電力料金は引き下げの方向に動 家庭用にはペレットが最適だろう。 る大きな電力需要がある③必要な 後さらに値上がりし、減産さえ始 今後外国に比べて割高なわが国 そ 12月号·大日本山林会)

う。当分は素材として利用し、そ うにし、「市場(イチバ)」取引き どでペレットストーブの利用から から「市場(シジョウ)」指向へ ことが先決だろう。川下から川上 べきだ。日本林業を再生をさせる の残った部分でエネルギー化する 供できる林業システムこそが来世 始めてはどうか。バイオマスを提 がある。宣伝という点からも、導 きで、その上にバイオマス熱利用 安価な植林技術や伐採方法の採択、 変革するべきだ。製材所の注文で に逆算してコスト計算ができるよ 紀に勝ち残れる林業だ。 新しい間伐方法の採用などするべ 直接的に土場が動き、市場指向の 入可能な事務所・製材所・家庭な

ち七○%が木材販売、二九%がパ バイオが確保できることが必要。 スウェーデンでは林家収入のう るもの。(『林業新知識』 快適感を、脳血流量や血圧など人 の周囲に存在する自然環境がもつ 文(森林総合研究所)に聞く ◆森の快適さを科学する/宮崎良 全国林業改良普及協会 の生理的数値から実証しようとす 連載を始めるにあたっての導入 森林・樹木・木材など現代人 1月号•

の価格で供給することは無理だろ いわれるから、日本で間伐材でこ

プ材販売、一%がバイオマスと

森林の未来を憂えて

- 国民森林会議設立趣意書 -

森林を伐りすぎたため、水資源の不安が強まっています。 日本の風景の象徴である松林が枯れつづけています。近年、台風や豪雪で各地の山林が大きな被害をうけました。また、

大規模に造林を進めたにもかかわらず、その手入れはなおざりにされています。 一九六○年代の高度経済成長のもとで、人びとは農山漁村から大量に都市へ流出しました。とくに林棠の分野では、戦後

とに暗いといわねばなりません。 日本の森林は、いま病んでいます。このままではわが国の文化を育んできた森林・山村はさらに荒廃し、その未来はまこ

一、森林は、林業にかかわる人びとによってこれまで辛うして支えられてきました。このままでは、その担い手を失う日が 一、二一世紀初頭までには、地球上の森林の二割が失われるといわれています。人類にとって重要な機能をもつ森林に、私 たちはどのように活力を与え、守り育てていくべきでしょうか。 このような現実を見すごしてよいのでしょうか。いま私たちは、次のような課題の解決を迫られていると思います。

一、いま、わが国は、木材需要の七割を外材に依存しています。森林資源の枯渇する中で、開発途上国の森林にどのように 一、山村に住み、林業で働いている人びとと、都市に住む人たちとはどのように手をにぎり合えるでしょうか。 、いまみられる民有林や国有林の危機的状態は、どのようにして克服することができるでしょうか。

近いのではないでしょうか。

子孫に残すために、日本の森林はどうあるべきか、いまこそ国民的合意を高める必要があります。 このような森林をめぐる諸問題の解決は、決して林業関係者だけにゆだねておくべきではありません。美しい国土と緑を

かかわるべきでしょうか。

期したいと思います。このためには、広い視野と長期の展望に基づいた英知の広範な結集がぜひ必要です。 私たちは、以上のような国民的立場から、将来の森林や林業、山村のあり方を方向づけ、提言としてまとめ、その実現を

を望んでやまない次第です。 そこで「国民森林会議」を設立し、広く国民・政府に訴えることを決意するに至りました。多くの方々のご賛同とご加入

一九八二年一月九日

季刊 国民と森林

2000年新春号 第71号

- ■発 行 2000年1月1日
- ■発行責任者 大内 カ
- ■発行所 国民森林会議 東京都港区赤坂1-9-13 TEL03(3583) 2 3 5 7 振替口座 00120-0-70096
- ■定 価 1,000円(〒共) (年額 3,000円)